



取扱説明書

製品名称

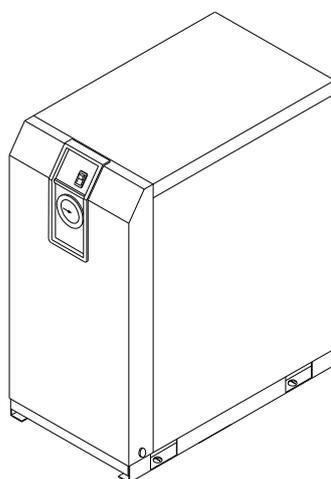
冷凍式エアドライヤ

型式 / シリーズ / 品番

【低 GWP 冷媒対応】

IDFA3E-23-*F
IDFA6E-20-*F*
IDFA8E-23-*F*
IDFA15E1-23-*F*

IDFA4E-23-*F*
IDFA6E-23-*F*
IDFA11E-23-*F*



本取扱説明書は製品の設置および運転について説明しています。本製品の基本的な運転方法をよく理解している人、または工業装置の取り扱いについて基本的な知識および能力を持つ人が作業を行ってください。

本説明書は、いつでも使えるよう大切に保管してください。

SMC株式会社

はじめに

この度は SMC 冷凍式エアドライヤ（以下「本製品」といいます）をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

本製品を末永く安全にご利用して頂くために、必ず本取扱説明書（以下「本書」といいます）を読んで、内容を十分に理解した上でご使用ください。

- 本書に記載してある警告・注意事項は、ISO4414^{*1)} JIS B8370^{*2)} および他の安全規制に加えて必ず守ってください。
 - *1) ISO 4414: Pneumatic fluid power - General rules and safety requirements for systems and their components
 - *2) JIS B 8370: 空気圧システム及びその機器の一般規則及び安全要求事項
- 本書は本製品の設置および運転について説明しています。本書により基本的な運転方法をよく理解している方、またはその設置および運転を行う工業装置の取扱について基本的な知識および能力を持つ人以外は、作業を行うことができません。
- 本製品に付属している本書やその他の書類の内容は、契約条項の一部になったり、既存の合意や約束または関係が修正・変更されるものではありません。
- 事前に当社に承諾を受けずに、本書のいかなる部分も第三者が使用する目的のために複写することを禁じます。
- 英文取扱説明書が必要な場合は、当社ホームページ（URL：<https://www.smcworld.com/>）からダウンロードしてご使用ください。

注意:本書の内容は予告なしに改訂されることがありますので、あらかじめご了承ください。

目次

1章	安全について	1-1
1.1	本製品をご使用になる前に	1-1
1.1.1	本書に記載の危険・警告・注意について	1-1
1.2	危険分類と危険警告ラベル貼り付け位置	1-2
1.2.1	電気に関する危険	1-2
1.2.2	高温に関する危険	1-2
1.2.3	回転物に関する危険	1-2
1.2.4	空気圧回路に関する危険	1-2
1.2.5	火災注意に関する危険	1-3
1.2.6	危険警告ラベルの位置	1-3
1.2.7	ご使用に関する注意ラベル貼り付け位置	1-5
1.2.8	型式銘板	1-6
1.3	安全対策	1-7
1.3.1	安全に関する注意事項	1-7
1.3.2	保護具	1-8
1.4	廃棄物の処理について	1-9
1.4.1	製品の破棄について	1-9
1.5	保証および免責事項／適合用途の条件	1-10
2章	各部の名称と機能	2-1
2.1	各部の名称と機能	2-1
3章	輸送と設置方法	3-1
3.1	輸送方法	3-1
3.2	設置方法	3-2
3.2.1	設置環境	3-2
3.2.2	製品の固定方法	3-2
3.2.3	空気配管	3-3
3.2.4	ドレンチューブ	3-4
3.2.5	電気配線	3-5
3.3	本製品を再設置する際の注意	3-7
4章	運転／停止方法	4-1
4.1	運転前の確認項目	4-1
4.2	運転	4-1
4.3	停止	4-2
4.4	運転再開時の注意	4-2
4.5	運転開始時の確認事項	4-2
4.6	長時間運転停止時の注意	4-2

5 章	確認と点検	5-1
5.1	日常運転中に確認すること	5-1
5.2	定期的な保守について	5-2
5.2.1	通風口（吸入口）の清掃	5-2
5.2.2	オートドレンのメンテナンス	5-2
5.2.3	オートドレン／ストレーナの清掃と交換方法	5-2
5.3	交換部品	5-4
6 章	異常の原因と発生時の対処	6-1
6.1	異常の原因と発生時の対処	6-1
6.2	高圧圧カスイッチのリセットの仕方	6-4
7 章	資料	7-1
7.1	仕様一覧表[IDFA3E-23-F~IDFA15E1-23-F]	7-1
7.2	仕様一覧表[IDFA6E-20-F]	7-2
7.2.1	補正係数	7-3
7.3	使用冷媒と GWP 値	7-3
7.4	外形寸法図	7-4
7.5	電気回路図	7-6
7.6	空気・冷媒回路および機能説明	7-8
8 章	オプション A 仕様	8-1
8.1	安全に関する注意事項	8-1
8.2	仕様	8-1
8.3	空気配管について	8-1
8.4	処理空気量	8-1
8.5	空気/冷媒回路	8-1
9 章	オプション C 仕様	9-1
9.1	仕様	9-1
9.2	製品の設置および取り扱い上の注意	9-1
10 章	オプション G 仕様	10-3
10.1	仕様	10-3
11 章	オプション H 仕様	11-5
11.1	安全に関する注意事項	11-5
11.2	仕様	11-5
12 章	オプション K 仕様	12-7
12.1	安全に関する注意事項	12-7
12.2	仕様	12-7

13章	オプションL仕様	13-1
13.1	安全に関する注意事項	13-1
13.2	仕様.....	13-1
13.3	ヘビーデューティオートドレン（ADH4000-04）の仕様	13-2
13.4	ヘビーデューティオートドレンの取付.....	13-2
13.5	保守点検.....	13-3
14章	オプションR仕様	14-5
14.1	安全に関する注意事項	14-5
14.2	GFCIの仕様.....	14-5
14.3	電源の接続手順	14-6
14.4	電気回路図	14-6
15章	オプションT仕様	15-1
15.1	安全に関する注意事項	15-1
15.2	運転・異常信号出力.....	15-1
15.3	電源および信号ケーブルの接続	15-2
15.4	電気回路図	15-3
16章	オプションV仕様	16-1
16.1	安全に関する注意事項	16-1
16.2	仕様.....	16-1
16.3	保守点検.....	16-2
17章	点検記録	17-1
17.1	点検記録.....	17-1

1章 安全について



本製品を使用する前に、本書に記載されている重要警告事項を注意深く読み、よく理解してから使用してください。

1.1 本製品をご使用になる前に

- 本章では、特にお客様が本製品を取扱う上での安全に関して記載しています。
- 本製品は圧縮空気除湿用です。それ以外の目的で使用した場合のトラブルについては、製造業者に責任はありません。
- 本製品は高電圧下で稼働し、運転中は製品内部には高温になる部品や回転する部品があります。部品交換、あるいは修理する場合には専門業者に依頼してください。
- 本製品を運転する人ばかりでなく、メンテナンスや装置に関わる作業を行う人および装置付近での作業を行うすべての人が、本書の安全に関する記述をよく読み、十分理解してから作業を行ってください。
- 本書は、安全教育担当者が実施する総合的な安全・衛生マニュアルではありません。
- 本製品または本製品付近で作業する人は、本製品固有の危険性に関する認識や安全対策に関する十分な訓練を受ける必要があります。
- 使用上での安全基準の遵守は、オペレーターやメンテナンス担当者 1人1人の責任で行う必要があります。
- オペレーターやメンテナンス担当者は、それぞれの作業において安全性を十分考慮した作業場所や作業環境に配慮する必要があります。
- 本書は、上記作業者がいつでも読むことが出来るところに大切に保管してください。
- 製品を分解したり、改造したりしないでください。分解や改造された製品につきましては保証できません。
- 本製品には可燃性冷媒を使用しています。火気の付近では使用しないでください。

1.1.1 本書に記載の危険・警告・注意について

製品の安全で正しい運転および作業者の負傷や製品の損傷を防止することを目的として、本書は、危険の重大性および緊急度によって「注意」「警告」「危険」の3段階に分けて表示しています。安全に関する重要な事項を含んでいますので、表示されている箇所の確認、諸注意や警告事項をよく読み、十分理解してから製品を取り扱ってください。「危険」「警告」「注意」は、重大性の順（危険>警告>注意）となっています。下記にその内容を説明します。これらはいずれも安全のための重要な注意事項であり、国際規格（ISO/IEC）やその他の安全規制に加え、これらに従わなければならない。

危険

「危険」項目は、製品の操作および保守・点検作業中に、作業者が誤った取り扱いをした場合や危険を回避するための遵守事項を怠ったりした場合、作業者が重傷を負ったり、または死にいたる危険性のある災害について記述しています。

警告

「警告」項目は、製品の操作および保守・点検作業中に、作業者が適切な手順を踏まなかったり、危険を回避するための警告事項を怠ったりした場合、作業者が重傷を負ったり、または死にいたる可能性のある災害について記述しています。

注意

「注意」項目は、製品の操作および保守・点検作業中に、作業者が適切な手順を踏まなかったり、危険を回避するための警告事項を怠ったりした場合、作業者が軽程度の負傷を負ったり、製品や設備機器および製品に損傷を与える可能性のある災害について記述しています。

1.2 危険分類と危険警告ラベル貼り付け位置

作業員の安全を守るために本製品には、特有の危険分類とそれらを表示する危険警告ラベルを貼っています。作業する前に、必ず危険分類の内容と危険警告ラベルの貼り付け位置を確認してください。

 警 告
<ul style="list-style-type: none">・本製品の取り扱い、輸送や設置および保守作業は危険がともないますので、本製品および付帯の設備製品について十分な知識と経験を持った人が行なってください。・異常が発生した場合は、本取扱説明書の指示に従って対処してください。・実施または依頼する前に、「6 章 異常の原因と発生時の対処」に沿って異常内容を確認してください。・いかなる異常が発生した場合でも、製品は運転しないでください。故障した場合は即座に製品の運転を停止し、サービスマンまたは有資格者を呼んで対処してください。

本製品固有の危険分類は、下記のとおりです。

1.2.1 電気に関する危険



 警 告
本製品の内部には、カバーパネルで隔離された高電圧のかかった電源供給部があります。カバーパネルを外したまま製品を運転しないでください。

1.2.2 高温に関する危険



 警 告
本製品は、運転中高温になる部位があり、接触によって火傷する恐れがあります。また、電源を切った後も余熱によって火傷する恐れがありますので、高温部の温度が 50℃以下に下がるまで作業を行わないでください。

1.2.3 回転物に関する危険



 警 告
本製品は、運転中に回転する部位があり、接触によってけがする恐れがあります。また、運転中は回転体が一時的に止まることもありますので、再び回転しますので運転中は作業を行わないでください。

1.2.4 空気圧回路に関する危険



 警 告
本製品の部品交換・部品清掃の際には必ず本製品内の圧縮空気圧力を抜いて“0”としてください。製品内に圧縮空気圧力が残っていると部品をゆるめた際に、急激な部品飛び出し等の思わぬ事故となる可能性があります。非常に危険です。

1.2.5 火災注意に関する危険



警告

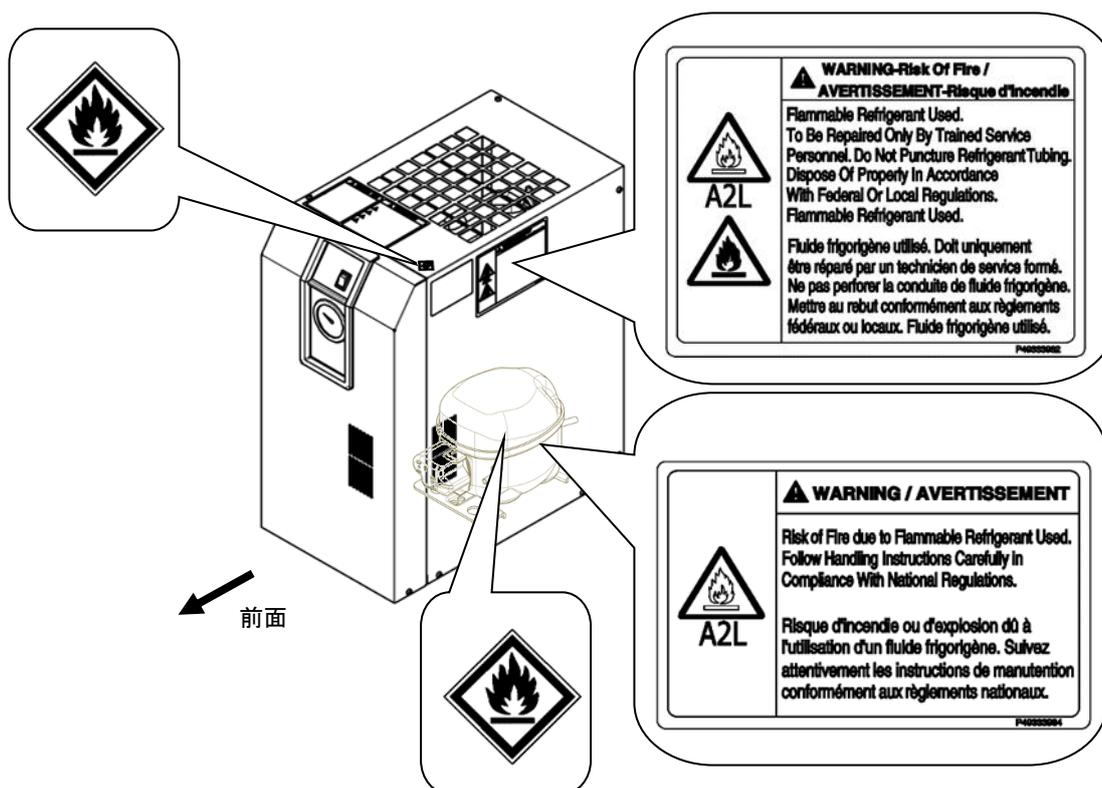
本製品は微燃性の冷媒 (R1234yf) を使用しています。危険警告ラベルの内容および安全注意事項、取扱説明書に従ってください。

1.2.6 危険警告ラベルの位置

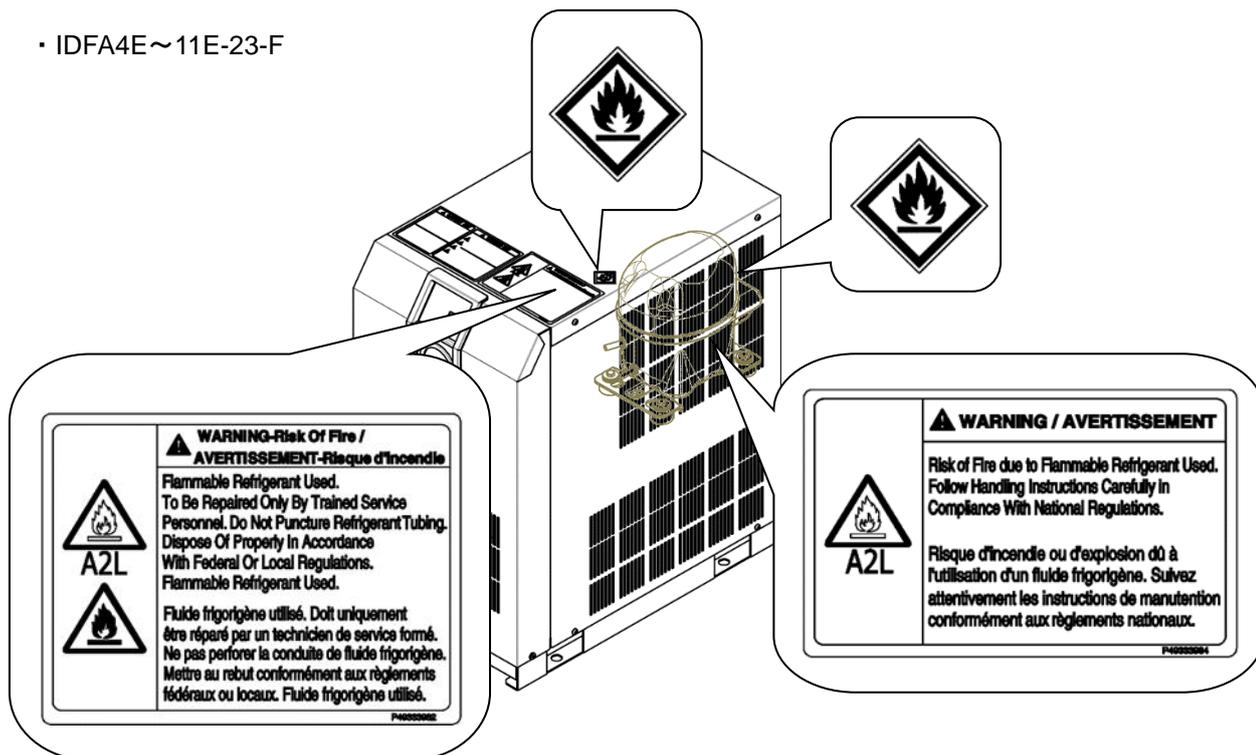
警告

- ・危険警告ラベルの内容をよく読んで、十分留意してください。
- ・危険警告ラベルをはがしたり、こすったりしないでください。
- ・危険警告ラベルの貼り付け位置をよく確認してください。
- ・危険警告ラベルの位置はお客様側で変更はできません

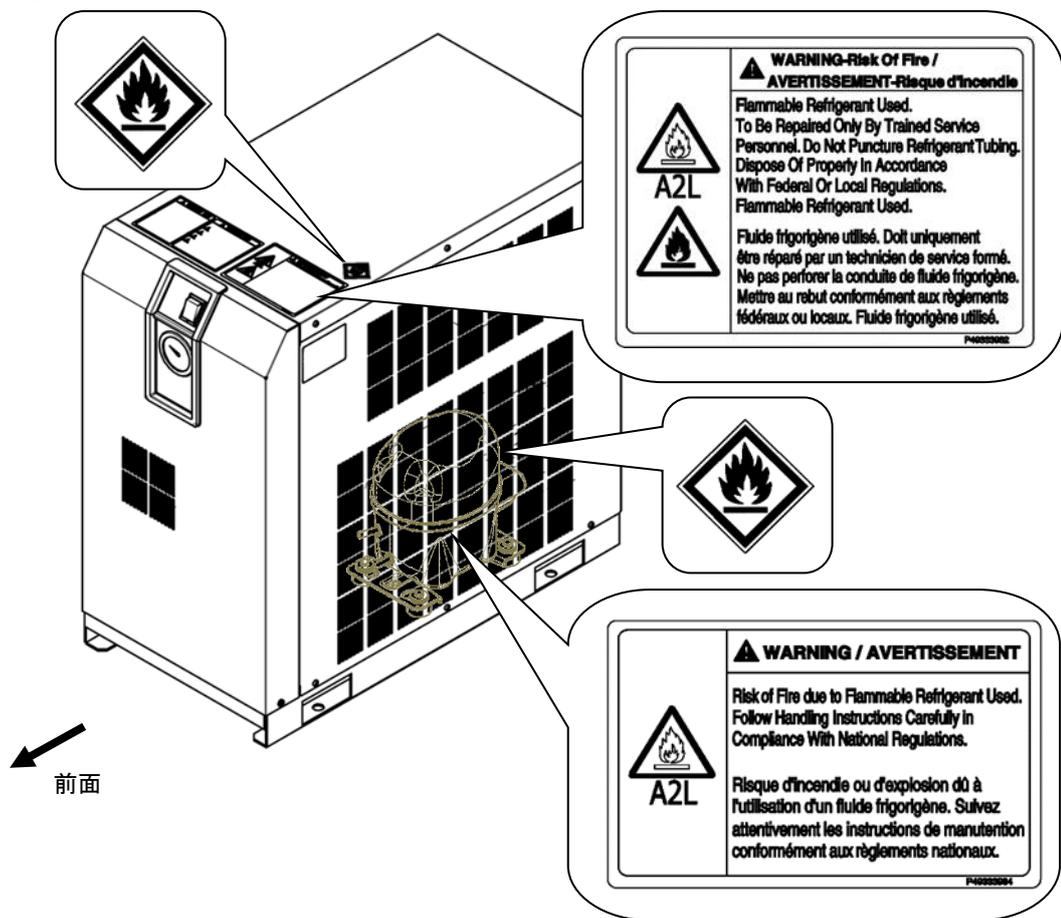
・ IDFA3E-23-F



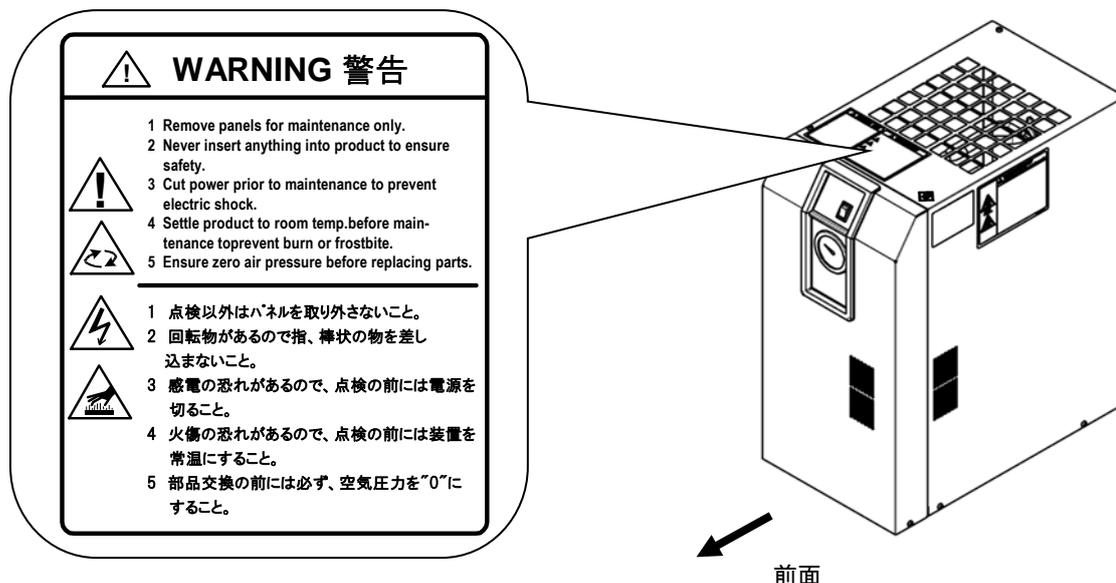
・ IDFA4E~11E-23-F



・ IDFA15E1-23-F



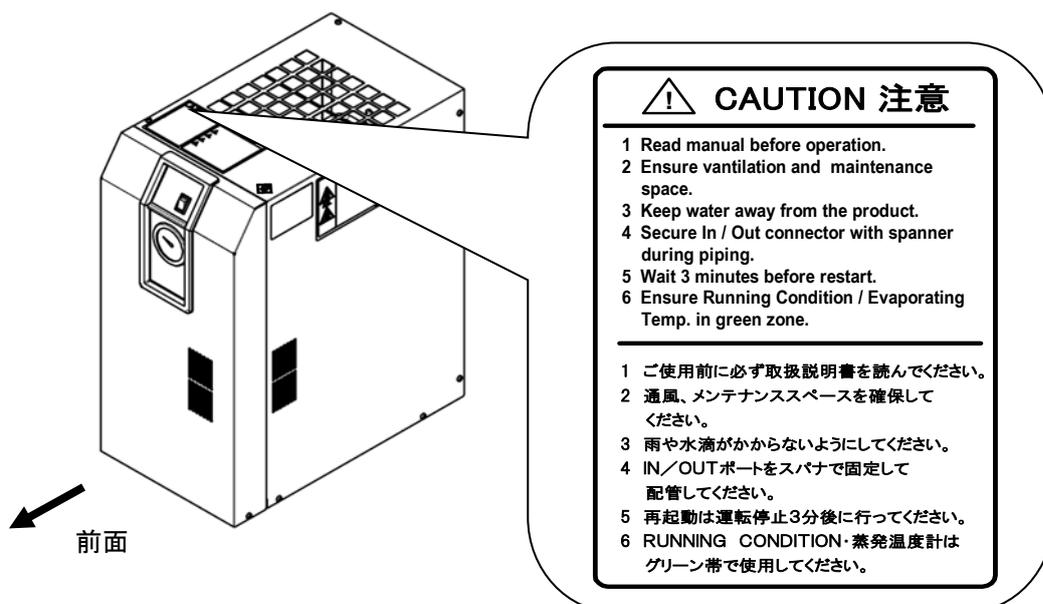
・ IDFA3E～15E1-23-F



1.2.7 ご使用に関する注意ラベル貼り付け位置

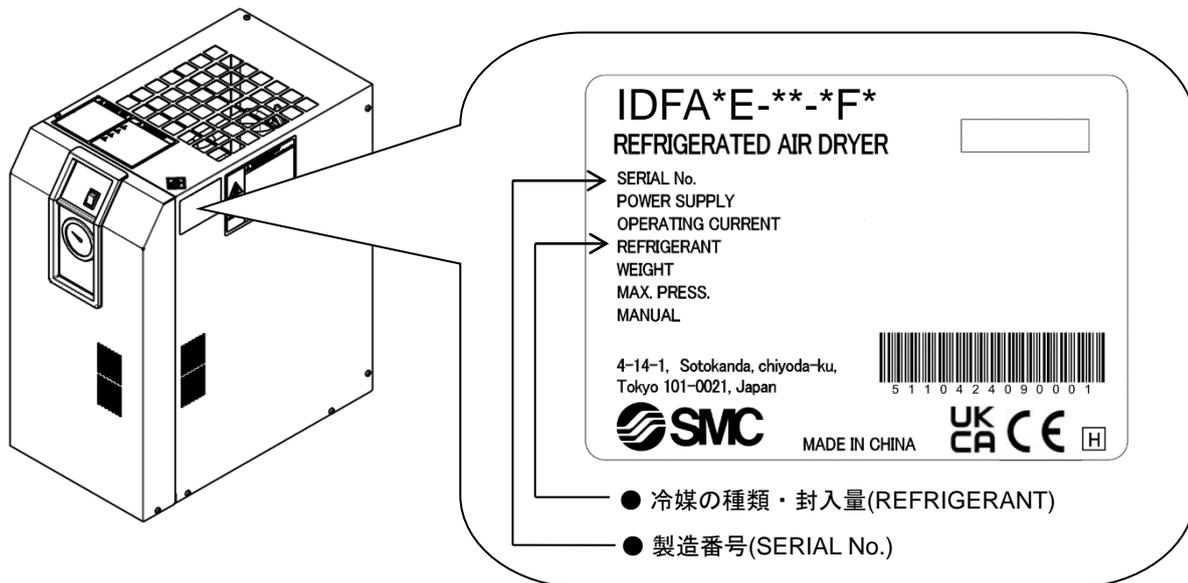
注意

- ・ 注意ラベルの内容をよく読んで、十分留意してください。
- ・ 注意ラベルをはがしたり、こすったりしないでください。
- ・ 注意ラベルの貼り付け位置をよく確認してください。



1.2.8 型式銘板

ラベルに記載されている型式、仕様内容をご確認ください。



製造番号の見方 C W 0001 * (2024年9月)

C			W			0001
年	記号	備考	月	記号	備考	連番
2024	C	記号は、アルファベット順とし、AからZまでを繰り返す。	1	O	記号は、アルファベット順とし、oを1月、Zを12月とする。	-
2025	D		2	P		
2026	E		3	Q		
2027	F		4	R		
↓	↓		↓	↓		

1.3 安全対策

1.3.1 安全に関する注意事項

本製品は保護機器による安全対策を行っていますが、さらに安全に運用するため、次の基本的な安全上に関する注意事項を記述します。

警告

この製品を操作する際には、以下の指示に従ってください。
指示に従わない場合、人身傷害や危険な事故につながる可能性があります。

警告



- ・微燃性冷媒（R1234yf）を使用しています。本製品を修理する前に、修理マニュアル/オーナーズガイドを参照してください。すべての安全注意事項に従ってください。
- ・製造者が推奨する以外の機械的装置や霜取りプロセスを促進するその他の手段を使用しないでください。
- ・取扱説明書に記載されている以外の方法で本製品を取り扱わないでください。本製品の故障・火災の原因となります。
- ・本製品は微燃性冷媒が使用されています。冷媒漏えいの場合、十分な換気を行ってください。また、火気を近づけないようにしてください。冷媒には臭いがない場合がありますのでご注意ください。
- ・本機器は、連続的に作動する着火源（例えば、裸火、作動中のガス器具、作動中の電気ヒーター）のない部屋に保管してください。
- ・穴を開けたり、燃やしたりしないでください。

- 本製品をご使用になる前に、本書をよく読み十分に内容を理解してください。
- メンテナンス作業中に装置を操作する場合、必ず周りの作業員全員に声をかけてください。
- 正しい工具を正しい手順でご使用ください。
- 保護具は「1.3.2 保護具」を参照し、正しい方法で着用してください。
- 緊急時の避難方法については、お客様の安全マニュアルに従ってください。
- 20kg 以上の重い物を持つ場合にはかならず 2 人以上で持つようにしてください。
- 作業後は、すべての部品やネジがすべて作業前の状態に戻っていることを確認してください。
- 飲酒しての作業や体調の悪い時の作業は事故発生の原因となる可能性がありますのでお控えください。
- 本書に許可されている場合を除いて、パネルを外すことはしないでください。
- 取扱説明書に記載されている以外の方法で本製品を取り扱わないでください。
- 部品の誤認による発火の可能性を最小限にするために、構成部品と同じ部品を交換してください。

1.3.2 保護具

本書では、作業別に保護具を定めています。
作業別に下記に示す保護具を着用してください。



警告

保護具は、使用する前にそれぞれの取扱説明書をよく読み、内容を把握した上で使用してください。

■ 運搬、設置および取外し時

- 保護靴
- 保護手袋
- ヘルメット

■ オートドレン清掃時

- 保護靴
- 保護手袋
- 保護マスク
- 保護エプロン
- 保護メガネ

■ 運転時

- 保護靴
- 保護手袋

1.4 廃棄物の処理について

本製品には可燃性冷媒および冷凍機油が使われています。回収する場合は、下記の注意をよく読み、十分理解してから行ってください。ご不明な点がございましたら販売店までご連絡ください。

警告

サービス担当者または有資格者以外は、本製品のパネルを開けないでください。
冷凍機油を家庭ごみと一緒に廃棄しないでください。また、許可されていない焼却炉で焼却しないでください。

警告



冷凍機油は各国の法律、または規則に従って廃棄してください。
冷媒は各国の法律、または規則に従って適切に廃棄してください。
冷凍機油回収作業は本製品および付帯の設備装置について十分な知識と経験を持った人が行ってください。
可燃性冷媒を使用しているため、火災の危険があります。

1.4.1 製品の破棄について

本装置の破棄については、各国の法律および条例に従って専門の産業廃棄物処理業者に委託してください。

1.5 保証および免責事項／適合用途の条件

本製品をご使用いただく際、以下の「保証および免責事項」、「適合用途の条件」を適用させていただきます。
下記内容をご確認いただき、ご承諾のうえ当社製品をご使用ください。

『保証および免責事項』

- ① 当社製品についての保証期間は、使用開始から1年以内、もしくは納入後1.5年以内、いずれか早期に到達する期間です。
また製品には、耐久回数、走行距離、交換部品などを定めているものがありますので、当社最寄りの営業拠点にご確認ください。
- ② 保証期間中において当社の責による故障や損傷が明らかになった場合には、代替品または必要な交換部品の提供を行わせていただきます。
なお、ここでの保証は、当社製品単体の保証を意味するもので、当社製品の故障により誘発される損害は、保証の対象範囲から除外します。
- ③ その他製品個別の保証および免責事項も参照、理解の上、ご使用ください。

『適合用途の条件』

1. 大量破壊兵器（WMD）やその他の兵器の製造のために生産設備に SMC 製品を使用することは固く禁じられています。
2. SMC 製品または技術を国から国への輸出は、取引に関する安全保障法および規制によって規制されています。SMC 製品を他の国に出荷する前に、輸出するすべての地域の規制に従って

注意

当社の製品は、自動制御機器用製品として、開発・設計・製造しており、平和利用の製造業向けとして提供しています。
製造業以外でのご使用については、適用外となります。

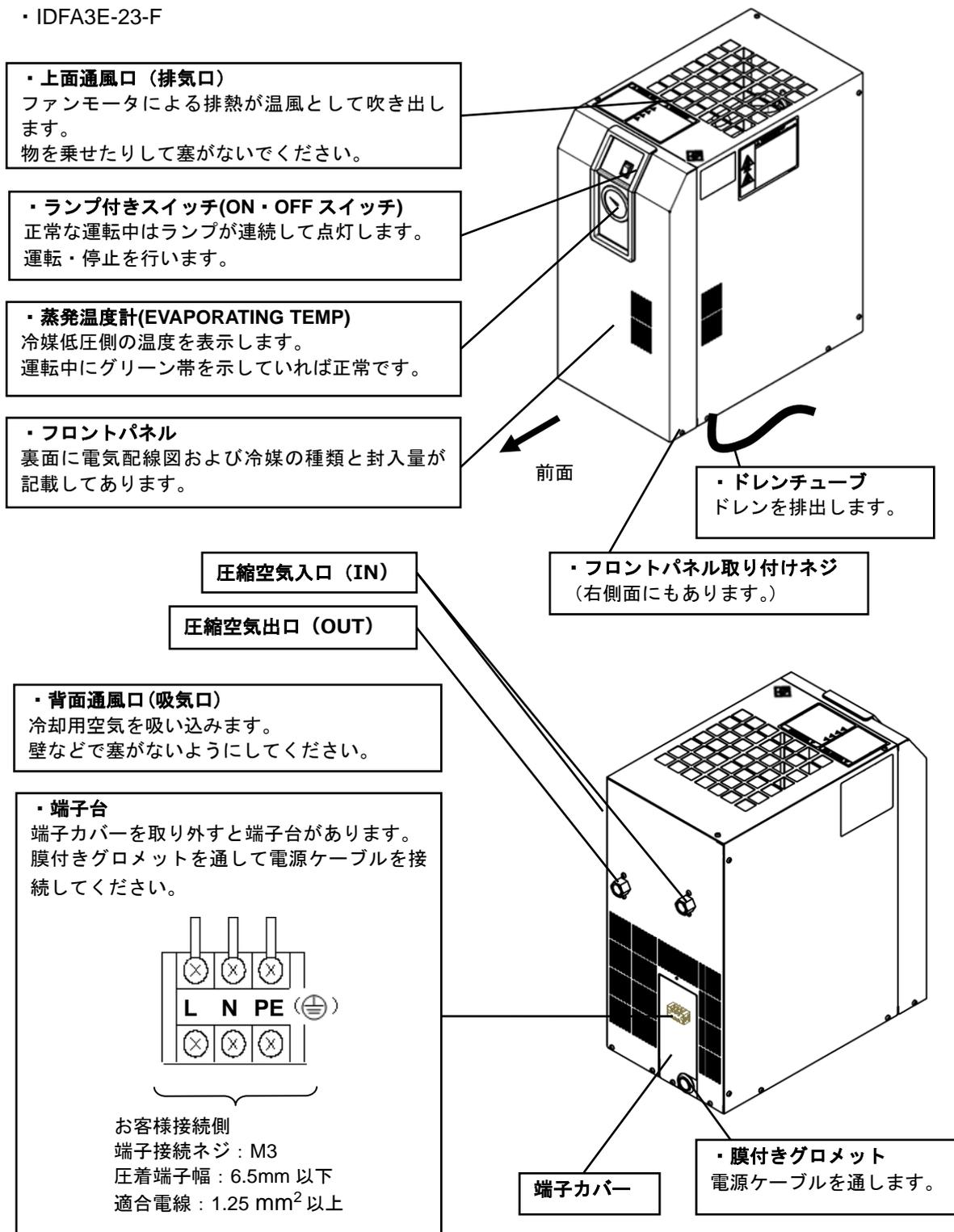
注意

当社が製造、販売している製品は、計量法で定められた取引もしくは証明などを目的とした用途では使用できません。
新計量法により、日本国内で SI 単位以外を使用することはできません。

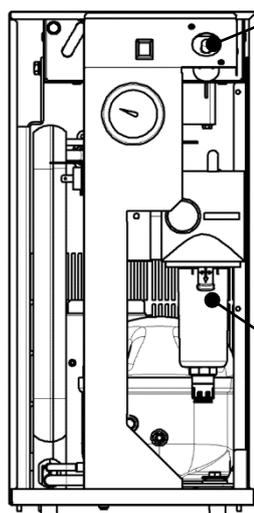
2章 各部の名称と機能

2.1 各部の名称と機能

・ IDFA3E-23-F



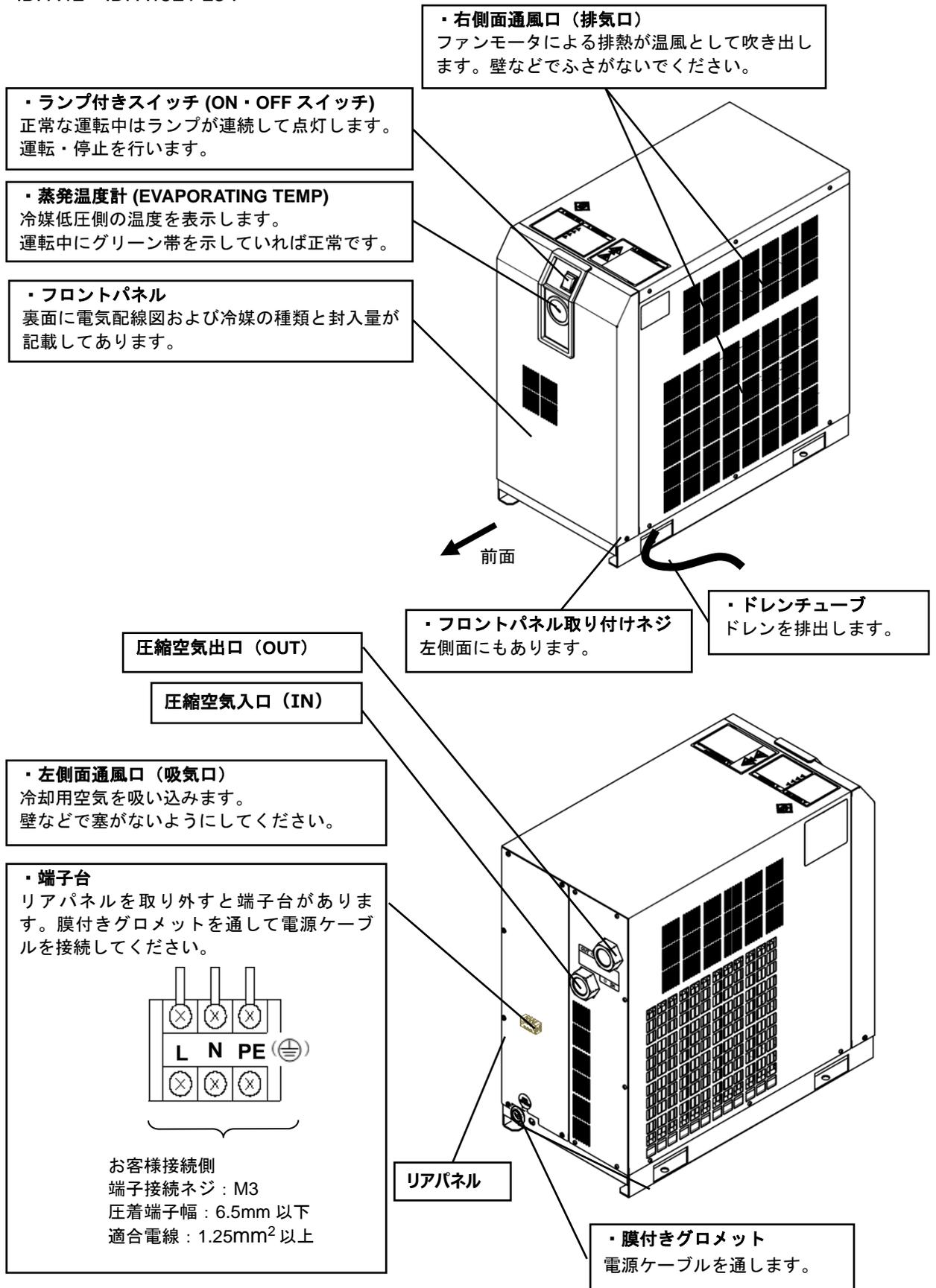
- ・フロントパネルを取り外した状態(IDFA3E)



・高圧圧カススイッチ
製品を保護する安全装置。
リセットする場合は「6.2 高圧圧カススイッチ
のリセットの仕方」を参照してください。

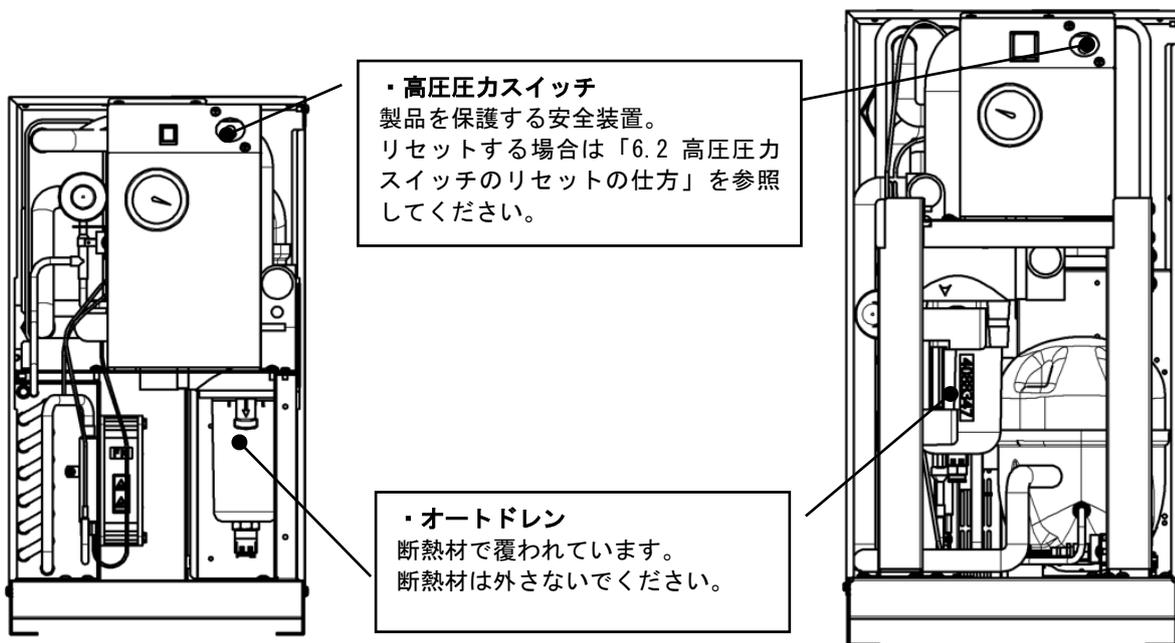
・オートドレン
断熱材で覆われています。
メンテナンス時以外は断熱材を外さないで
ください。

IDFA4E~IDFA15E1-23-F



・フロントパネルを取り外した状態
(IDFA4E~11E-23-Fの場合)

・フロントパネルを取り外した状態
(IDFA15E1-23-Fの場合)



3章 輸送と設置方法



警告

- ・製品を正しい方法にて使用し、製品の設置および操作、保守、点検中は特に人体に対する安全に気をつけてください。
- ・重要設備、機器に使用する場合は保護製品の作動による停止や故障による停止に備え、予備機やそれに替わる製品を用意してください。



注意

- ・輸送、設置および危険な作業を含む保守は、本製品およびシステムに関して十分な知識と経験を持った人のみが行えます。
- ・本製品は微燃性冷媒を使用しています。下記の場所に設置してください。

床面積 10 m² 以上

3.1 輸送方法

本製品を輸送する場合は、必ず以下の内容をお守りください。

- 本製品を持ち上げる場合は、横倒しや落下に十分注意してベース面から持ち上げてください。
- 絶対に本製品を横に倒して輸送しないでください。横に倒すと破損します。
- 本製品は吊り上げないでください。
- 本製品の空気出入口継手にエアフィルタ等の部品を取り付けて輸送しないでください。やむを得ず部品を取り付けて輸送する場合には、輸送振動の影響を受けないように取り付け部品をブラケット等で支持して本製品側に影響が出ないようにしてください。



警告

- ・本製品は重量物であり輸送の際に危険がともなうため、必ず上記指示を守ってください。
- ・梱包時の重量は 20kg 以上ありますので、フォークリフトで輸送してください。フォークリフトでの輸送は必ず有資格者が行ってください。

3.2 設置方法

3.2.1 設置環境

本製品を以下の環境で使用または保管しないでください。正常に動作しないばかりでなく、故障の原因となります。

- 雨や風が直接当たる場所や湿気の多い場所（相対湿度 85%以上の場所）
- 水・水蒸気・塩水・油などがかかる状況
- ほこり・粉体がある場所
- 引火性、爆発性ガスがある場所
- 腐食性ガス・溶剤・可燃性ガスがある場所
- 直射日光の当たる場所、放射熱のある場所
- 周囲温度が以下の範囲を超える場所
 運転時 2～40℃ 保管時 0～50℃（ただし、配管内部にドレン水がないこと。）
- 急激な温度変化がある場所
- 強い電磁ノイズが発生する場所（強電界・強磁界・サージが発生する場所）
- 静電気が発生する場所、本製品に静電気を放電させる状況
- 強い高周波が発生する場所
- 雷の被害が予想される場所
- 車両および船舶等の乗り物への設置
- 高度が 2000 メートル以上の場所
- 強い振動・衝撃が伝わる状況
- 本製品が変形するような力、重量がかかる状況
- （運転施設内に）メンテナンスを行うための十分な場所を確保できない状況
 メンテナンスに必要なスペース
 正面 : 600 mm / 背面 : 600 mm / 上面 : 600 mm / 右側面 : 600 mm / 左側面 : 600 mm
- 製品の通風口が塞がれている場所
- エアコンプレッサまたは他のドライヤの排風空気（熱風）を吸込む場所
- 急激な圧力変動や流速変化が起こる場所



警告

- ・ 下記のような物質が圧縮空気中および周囲の雰囲気中に含まれている環境では使用または保管をしないでください。故障の原因になるばかりでなく、部品の破損等により怪我のおそれがあります。
腐食性ガス、有機溶剤、化学薬品

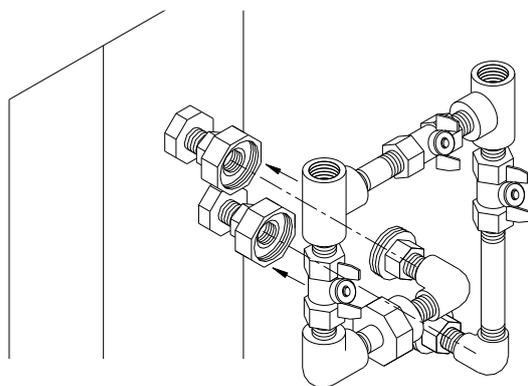
3.2.2 製品の固定方法

- 振動の少ない安定した水平な平面に設置してください。
- 寸法は「7.3 外形寸法図」を参照してください。
- IDFA4E～15E1-23-F は転倒防止のためアンカーボルトで固定する必要があります。
 基礎ボルトは別売付属品として用意してあります

品番	品名	数量	対応機種
IDF-AB500	基礎ボルトセット	1 (4本入り/1セット)	IDFA4E～15E1-23-F

3.2.3 空気配管

- 圧縮空気入口と圧縮空気出口への接続は、ユニオン等により行い、取り外しできるようにしてください。
- 本製品に空気配管継手を取り付ける時は、本製品の空気配管をパイプレンチ等でおさえて締め付けてください。
- 配管重量が直接ドライヤにかからないようにしてください。圧縮空気出入口継手にエアフィルタ等の部品を取り付ける場合は、本製品に無理な力が加わらないように部品をブラケット等で支持してください。
- エアコンプレッサの振動が伝わらないように十分注意してください。
- 配管表面は圧縮空気の入口温度と同等の温度になります。50℃を超える場合は断熱材を巻いてください。
- 圧縮空気の入口温度が50℃を超える場合には、エアコンプレッサの後にアフタクーラを設置したり、エアコンプレッサの設置場所の温度を下げたりして、50℃以下になるようにしてください。
- 圧力変動（脈動）が大きい空気源の場合には、エアタンクを設置する等の対策を行ってください。
- 配管の際、ゴミやシールテープ・液状ガスケット等の異物が入らないよう配管内を十分にフラッシングしてから接続してください。配管内にこれらの異物が混入すると冷却不良やドレン排出不良の故障原因となります。
- 配管は使用圧力・温度に十分耐えられるものとし、接続部は漏れがないように確実に取り付けてください。
- エアコンプレッサを停止させずに保守点検が出来るように必ずバイパス配管を設けてください。
- 空気出入口配管に金属製のフレキシブルチューブを使用されますと、配管内より異音が発生する場合があります。その場合は、鋼管の配管に変更してください。
- 急激な圧力変動や流量変動が起こる場合は、ドレン飛散防止のためドライヤ二次側にフィルタを設置してください。
- 使用条件によっては出口配管表面で結露する場合があります。結露防止のため配管部分に断熱材を巻いてください。



バイパス配管セット（例）

バイパス配管セットは別売付属品として用意しています。
品番はカタログにて確認願います。

3.2.4 ドレンチューブ

- ドレンチューブは外径 10mm のチューブが付属しています。チューブの排出端は大気開放とし、ドレン受けなどへドレンが流れ込むようにしてください。
(お客様にてドレンチューブをご用意する際には、オートドレンが正しく作動するために長さ 5m 以下、内径 6.5mm 以上としてください。)
- ドレンは圧縮空気の圧力を利用して定期的に排出されますので、ドレン排出時に振れないよう排出端をしっかり固定してください。
- ドレンチューブは立ち上がらないようにしてください。
- ドレンチューブは折れたり、つぶれたりしないようにしてください。設置の際に本製品がドレンチューブを踏みつけ注意してください。



警 告

- ・ 排水作業中は、作業者の安全を守るために定められた手順に従ってください。(作業する場合は、排出液が身体に触れないように「1.3.2 保護具」を使用してください。)
- ・ ドレン排出液にオイルが混入している場合、液には危険な物質が含まれている可能性があります。現地の 規則に従って処理してください。

3.2.5 電気配線

⚠ 警告

- ・配線作業は有資格者のみが行ってください。
- ・安全のため、配線作業の前には電源を遮断してください。活電状態では絶対に作業しないでください。
- ・本製品には、仕様に合った電源を供給してください。
- ・サージの影響を受けない安定した電源を供給してください。
- ・タコ足配線は発熱や火災等の原因となり危険です。絶対におやめください。
- ・電源は緊急停止対策が施されているシステムから供給してください。
- ・感電および冷凍機モータ焼損防止のため、「7.1仕様一覧表」を参照し、適正な漏電感度と負荷容量をもった漏電ブレーカを供給電源側に取り付けてください。
- ・ブレーカは、全ての電源を遮断できるように、また操作部に容易にアクセスできるように正しく設置してください。
- ・現地の安全規制に適合したブレーカを設置してください。
- ・安全のため、アース接続は必ず行ってください。
- ・アース線に外力がかからないように、長さに余裕を持たせてください。
- ・安全のため、配線接続時はアース線を最初に取り付け、配線取り外し時はアース線を最後に取り外す作業を行ってください。
- ・アースは水道管、ガス管、避雷針には絶対に接続しないでください。
- ・電源配線を改造して使用しないでください。
- ・欧州で使用する場合には、本製品への供給電源に IEC 規格に適合したブレーカを設置してください。

電源ケーブルの仕様

- ・以下の電源ケーブルを準備してください。
- ・製品内部の配線取り回しに約 0.2m 必要です。

機種	IDFA3E～IDFA15E1-23-F
電源ケーブル（3芯、アースを含む）	16AWG (1.25mm ²)
ケーブル外径	約 8～12mm
本製品からの電源ケーブル長さ※	30m 未満

電源接続

- ・電源ケーブルとアースは端子台に接続します。接続端子は必ず丸型圧着端子を使用してください。

機種	IDFA3E～IDFA15E1-23-F
端子ネジ	M3
適合圧着端子	1.25-3 (端子幅 6.5mm 以下、丸型圧着端子)

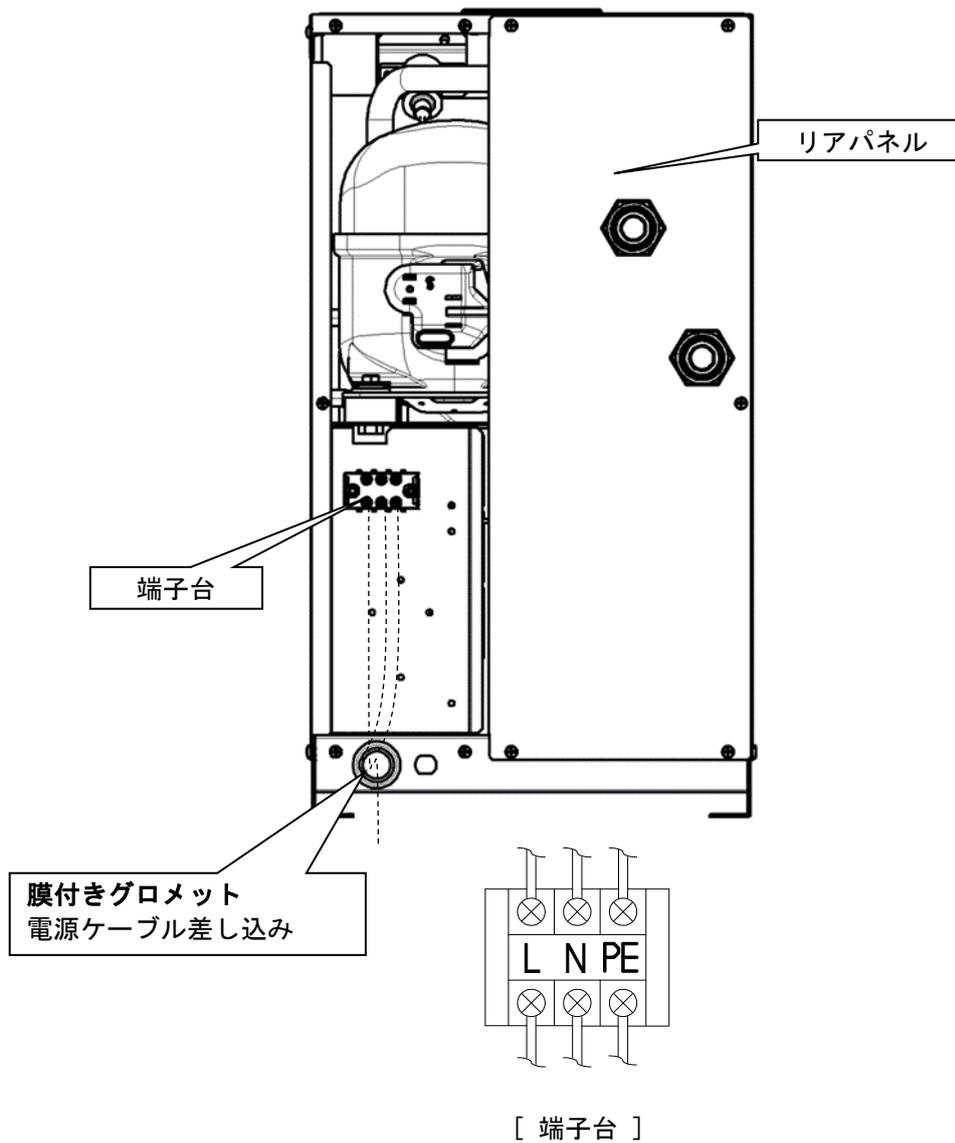
配線の手順

- ① 端子台カバーあるいはリヤパネルを外します。
- ② 膜付きグロメットを通してケーブルを導入し、端子台に接続します。(端子台のラベルをご参照ください。)

M3 ネジ締めトルク : 0.5N・m

配線作業中は端子台以外の機器に触れないでください。

- ③ 端子カバーあるいはリヤパネルを元通りに取り付けます。



3.3 本製品を再設置する際の注意

⚠ 注意

- ・本製品を別な場所で再設置する場合は、本製品とその付帯設備について十分な知識を持った人が行ってください。

本製品を使用（試運転を含む）した後、別の場所へ移動・再設置する場合は、下記の項目および2章全体を実施の上、移動・再設置を行ってください。

電源ケーブルの取り外し

電源ケーブルを取り外す場合は、必ず元電源を遮断してください。

⚠ 警告

- ・配線作業は有資格者のみが行ってください。
- ・安全のため、配線作業の前には必ず電源を遮断してください。活電状態では絶対に作業しないでください。

空気配管の取り外し

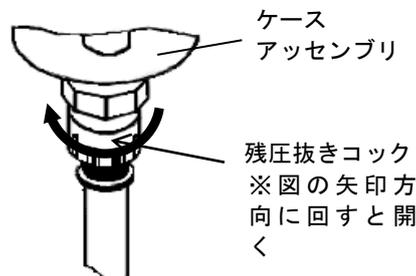
⚠ 警告

- ・配線作業は有資格者のみが行ってください。
- ・安全のため、配管の取り外しの前には必ず元の圧縮空気源と本製品を遮断してください。
- ・本製品内に圧縮空気圧力が残っている状態で絶対に配管を取り外さないでください。

配管を外した後のシール材の残りはきれいに取り除いてください。再設置時にシール材の残りが本製品内に入りますと冷却不良や製品故障の原因となります。

圧縮空気残圧抜き手順

- ① ドライヤを取り外している最中も圧縮空気が必要な場合のみバイパス配管バルブを開きます。
- ② 圧縮空気入口バルブ、圧縮空気出口バルブを閉めます。
- ③ フロントパネル取り付けネジ（2ヶ所）をゆるめ、フロントパネルを少し持ち上げて取り外します
- ④ オトドレンチューブ接続口の残圧抜きコックを開いて装置内の圧縮空気圧力を抜きます。（下図参照）



4章 運転／停止方法



注意

・運転および停止は、本製品とその付帯設備について十分な知識と経験を持った人が行ってください。

4.1 運転前の確認項目

試運転を行う前に以下の項目を確認してください。

設置状態

- 目視にて、本製品が水平に設置されていることを確認してください。
- アンカーボルトによって本製品の固定が十分に行われていることを確認してください。
- 本製品に重量物を載せたり、配管などにより無理な力を掛けないでください。

ケーブル接続

- 電源ケーブル、アースが正しく確実に接続されていることを確認してください。

ドレンチューブ

- ドレンのチューブが正しく接続されていることを確認してください。

空気配管

- 圧縮空気の配管が正しく接続されていることを確認してください。本製品の IN・OUT 側およびバイパス配管のバルブが完全に締め切られていることを確認してください。

ボールバルブ

- オートドレンのボールバルブが開いていることを確認してください。

4.2 運転

以下の手順に従って運転を開始してください。

- ① 主電源ブレーカを投入してください。続いてランプ付きスイッチを ON にしてください。
- ② ランプが点灯し、しばらくしてコンデンサ冷却用ファンがまわり、排気口から温風が吹き出します。
- ③ 本製品の IN・OUT 側バルブをゆっくりと開きます。バイパスバルブは完全に締め切られていることを確認してください。
空気漏れがないか確認します。
- ④ 圧縮空気の状態や周囲温度の状態によっては、冷却用ファンが運転・停止を繰り返しますが、冷凍機は連続運転となり、蒸発温度計の針がグリーン帯を示します。冷媒圧力計の針がグリーン帯より高い温度を示す場合は、「6章 異常の原因と発生時の対処」を参照してください。
- ⑤ 圧縮空気を流してしばらくするとドレンチューブからドレンが自動的に排出されます。
- ⑥ そのまま連続運転の状態でご使用ください。



注意

- ・頻繁なスイッチの ON・OFF は故障の原因となりますので、行わないでください。
- ・本製品のオートドレンは空気圧力が 0.15MPa 以上で弁が閉まる構造ノーマルオープンのため、IN 側バルブ開き始めには、圧力が上昇するまでドレン排出口から空気が吹き出します。そのため吐出空気量が少ないエアコンプレッサでは圧力が上昇しないことがあります。
- ・急激な圧力変動や流速変化が起こると、一旦除湿されたドレンが二次配管へ流出する場合がありますので、そのような条件では使用しないでください。

4.3 停止

- ① ランプ付きスイッチを OFF にしてください。
- ② ランプが消え、運転が停止します。
使用状況によっては、スイッチを OFF してからしばらくの間、高温の空気が冷却ファンにより排気され続けることがあります。

4.4 運転再開時の注意

運転を停止させてから次の運転までは少なくとも 3 分以上の時間を取ってください。3 分以内に運転を再開すると保護回路が作動し、運転できない場合があります。

運転できない場合には、「6 章 異常の原因と発生時の対処」を参照して、運転を再開してください。

4.5 運転開始時の確認事項

運転開始時に、以下の項目を確認してください。異常が発生した場合には直ちに運転を中止してください。本製品のランプ付きスイッチを OFF にし、供給電源のブレーカを遮断してください。

- 圧縮空気の漏れがないこと。
- 圧縮空気の圧力、温度、流量および周囲温度が本製品仕様内であること。
- ドレンチューブからドレンが出ていること。
- 蒸発温度計の針がグリーン帯を指していること。
- エアドライヤの二次側からドレンが排出されないこと。
- 製品から、異常音、異常振動、異常臭が発生していないこと。

4.6 長時間運転停止時の注意

- 週末等に本製品を 24H 以上使用しないときには、省エネ及び安全性の面から本製品の運転スイッチ、あるいは電源を OFF にしてください。また、圧縮空気配管内の圧力を抜くことを推奨します。
- 運転を再開した際に、エアドライヤ内に残留しているドレンが、二次側に飛散する場合がありますので、エアドライヤの二次側にフィルタ類を設置することを推奨します。

5章 確認と点検

警告

- ・本製品のメンテナンスは、本製品とその付帯設備について十分な知識と経験を持った人が行なってください。
- ・本製品をメンテナンスする前に本取扱説明書に出てくる重要警告事項を注意深く読み、よく理解してから行ってください。

危険

- ・パネルを取り外す際は、必ず1次側電源を遮断してください。
- ・本製品の部品交換・部品清掃の際には必ず本製品内の圧縮空気圧力を抜いて“0”としてください。絶対に本製品の運転中や、内部に空気圧が入っている状態で、オートドレンのケースアッセンブリを取り外さないでください。製品内に空気圧が残っていると、部品をゆるめた際に、急激な部品飛び出し等の事故となる恐れがあります。
- ・運転中は高温の部品および高電圧のかかった電源供給部があります。熱により火傷をしたり、高電圧によって感電する恐れがあります。本製品のランプ付スイッチを切って運転を停止していても充電ラインがあります。充電部分の作業をするときは、お客様設置の漏電ブレーカをOFFにして作業してください。
- ・装置を停止した後も製品内の部品は余熱によって非常に高温になっている場合があります。火傷をする恐れがあります。部品温度が50°C以下に下がるまで交換作業を行わないでください。目安は約10～15分です。
- ・オートドレンのメンテナンス作業では、作業時にドレン液に触れる可能性があります。お客様が規定されている作業安全確保の手順に従ってください。(オートドレン作業時は、「1.3.2 保護具」を使用し、ドレン液が本体に触れないようにしてください)。
- ・オートドレンなどの部品の洗浄には中性洗剤の水溶液を使用し、シンナーなどの溶剤は絶対に使わないでください。
- ・外装パネルやオートドレンのケースアッセンブリの取外しの際は、怪我をしないように手袋を着用してください。

5.1 日常運転中に確認すること

日常運転中に、以下の項目を確認してください。異常が認められた場合は、直ちに運転を停止して「6章 異常の原因と発生時の対処」を参照してください。

- 圧縮空気の漏れがないこと。
- 運転中にランプが点灯していること。
- 運転中にドレンチューブからドレンが出ていること。
- 蒸発温度計の針がグリーン帯を指していること。
- 製品から、異常音、異常振動がないこと。
- 製品から、異臭、煙などが発生していないこと。

5.2 定期的な保守について

5.2.1 通風口（吸入口）の清掃

1 ヶ月毎に通風口（吸入口）部分のほこり等のごみを取り除くため、エアブローするなどして掃除してください。

注意

・エアブローの際には、ほこり等のごみが目や気管に入らないように保護めがねやマスクをしてください。

5.2.2 オートドレンのメンテナンス

1 ヶ月毎にオートドレンのエレメントとケースアセンブリに溜まったごみを取り除いてください。洗浄には中性洗剤を使用してください。

なお、汚れがひどく、洗浄しても作動不良を起こす場合は交換をしてください。また、次回から洗浄間隔を短くしてください。

警告

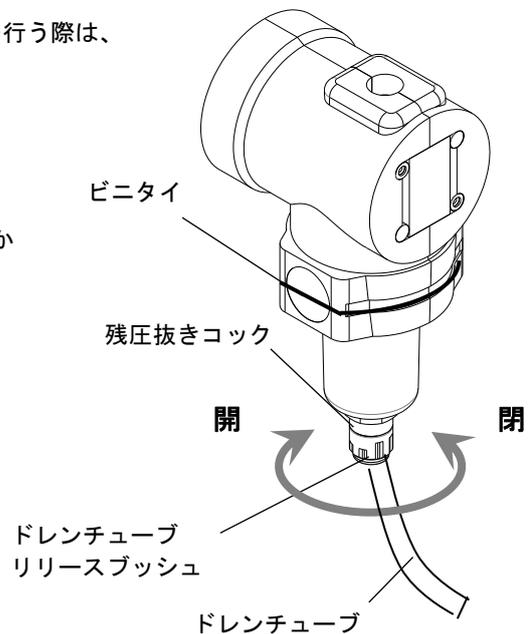
・必ずオートドレン内の残圧を抜いてからオートドレンのメンテナンスを開始してください。
・ケースアセンブリが破損している場合や、汚れがひどい場合は新品と交換してください。

5.2.3 オートドレン／ストレーナの清掃と交換方法

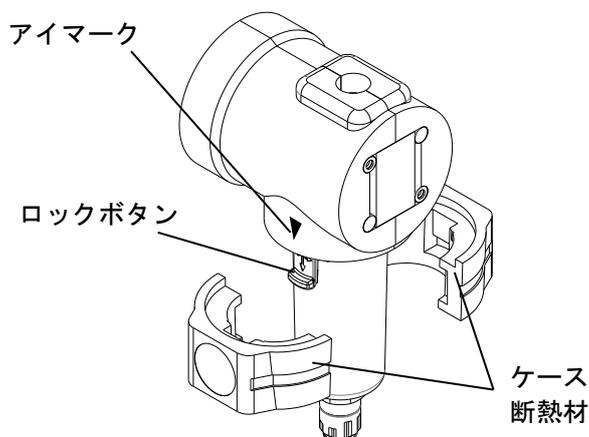
オートドレンおよびオートドレンストレーナに関するメンテナンスを行う際は、次の手順を経て作業を実施してください。

(1) ケースアセンブリの取り外し

- ① ランプ付きスイッチを OFF にします。
- ② 電源の漏電ブレーカを遮断するか、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ③ IN・OUT 配管のバルブを全閉にします。バイパスバルブは作業中も圧縮空気が必要な場合のみ開いてください。
- ④ 作業に必要な個所のみ外装パネルを取り外してください。
- ⑤ ドレンチューブ接続口の残圧抜きコックを開き、製品内に残っている空気圧及びドレン液を抜きます。
(ドレンチューブはつけたままで、ねじれないよう手で押えてください。)
- ⑥ 製品内に残った空気圧力によりドレンが勢いよく出る場合がありますので、ご注意ください。
- ⑦ ドレンチューブリリースブッシュを指で上に押しなが
ら、チューブを引き抜いてください。

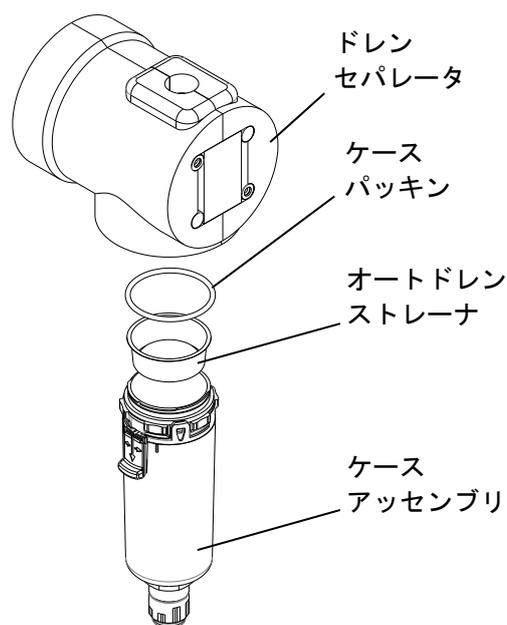


- ⑧ ケース断熱材を固定しているビニタイを緩め、ケース断熱材を外してください。
- ⑨ ケースアセンブリを軽く握り、ロックボタンを親指で下へ引き下げ、そのままケースアセンブリを左へ30度回し、アイマークを合わせます。
- ⑩ ロックボタンから親指を離して、ケースアセンブリをゆっくりと下(垂直)の方向へ引き下ろすと、ケースアセンブリが外れます。
- ⑪ オートドレンストレーナを取り外し洗浄します。(オートドレンストレーナの縁で怪我をしないように十分注意してください。)
- ⑫ ケースアセンブリ内部に中性洗剤を溶かした水溶液を入れ、よく振って洗ってください。



(2) ケースアセンブリの取り付け

- ① ケースパッキンは、傷・よじれがないか、ゴミなどの異物が付着していないかを点検して、グリスを薄く塗布してからケースアセンブリの溝へ装着してください。
- ② ケースアセンブリにオートドレンストレーナを装着し、ドレンセパレータへ取り付けます。ロックボタンがカチッと止まるまで回してください。
- ③ そのままケースアセンブリを左右に軽く回してみても回らないことを確認してください。回ってしまう場合には、ケースアセンブリをドレンセパレータへはめ込むところからやり直してください。
- ④ ケースアセンブリにケース断熱材を取付け、ビニタイでケース断熱材を固定してください。
- ⑤ 残圧抜きコックを閉め、ドレンチューブ、フロントパネルをもと通りに取り付けます。
- ⑥ 再びエアドライヤに圧縮空気を加える時は、先ず入口側のバルブをゆっくりと開いてください。圧縮空気漏れがないか確認し、異常が無ければ出口側のバルブも開いてください。
- ⑦ オートドレンストレーナやケースアセンブリが破損しているまたは、非常に汚れている場合は、新しいものと交換してください。



5.3 交換部品

下表に示す部品は、定期的に交換することを推奨します。なお、記載されている値は、使用条件（周囲温度、設置環境等）により異なるため、保証値ではありませんのでご注意ください。

表 5-1. 定期交換部品表

部品名称	推奨交換サイクル
圧力スイッチ	50 万回
ファンモータ	20,000 時間
(注)電磁接触器、電磁開閉器	100 万回

注意) オプション仕様：-T（運転、異常信号取出用端子台付）および特注仕様にて取付けてある場合。

表 5-2. オートドレン交換部品

品番	品名	数量	適応型式	備考
AD38-A	ケースアッセンブリ	1	IDFA3E/4E-23-F	ケースパッキン付き
AD48-A		1	IDFA6E~15E1-23-F / IDFA6E-20-F	

注意) ドレンセパレータ部を除いたオートドレン部のみの交換部品品番です。

ドレンセパレータ部は交換できません。

表 5-3. オートドレンストレーナ・ケースパッキン交換部品

品番	品名	数量	適応型式
IDF-S0001	オートドレンストレーナ	1	IDFA3E/4E-23-F
IDF-S0002		1	IDFA6E~15E1-23-F / IDFA6E-20-F
C32FP-260S	ケースパッキン	1	IDFA3E/4E-23-F
C42FP-260S		1	IDFA6E~15E1-23-F / IDFA6E-20-F

表 5-4. ケース断熱材交換部品

品番	品名	数量	適応型式	備考
IDF-S1932	ケース断熱材	1	IDFA3E/4E-23-F	1 機種分 2 個入り
IDF-S1933		1	IDFA6E~15E1-23-F / IDFA6E-20-F	

6章 異常の原因と発生時の対処

6.1 異常の原因と発生時の対処

本製品に異常がある場合には、次表に従って調べてください。原因が特定できない場合は、電源を切ってから販売店または最寄りの当社営業所までご連絡ください。

症 状	原 因	処 置
スイッチを ON にしてもエアドライヤが動作せず、ランプ付きスイッチも点灯しない。	電源コードがゆるむかはずれている。	・しっかりと接続しなおしてください。
	漏電ブレーカが OFF になっている。	・漏電ブレーカの容量を確認してください。 ・運転停止後 3 分以内に運転再開していないか確認してください。 ・漏電ブレーカを ON にして運転をしてみてください。 それでも漏電ブレーカが OFF になるようでしたら本製品の絶縁不良が考えられます。電源を切った上で弊社までご連絡ください。
運転中、しばらくすると運転ランプが消えて停止する。 (保護回路が作動している。「6.2 高圧圧カスイッチのりセットの仕方」を参照して保護回路をりセットしてください。)	設置場所の通風が悪い。周囲温度が高い。	・通風をよくして周囲温度はなるべく低くしてください。
	通風口が、ほこりや壁などでふさがれている。	・通風口の周囲の壁から 600mm 以上離して設置してください。 ・通風口部分は、毎月 1 回は清掃してください。
	圧縮空気の温度が高すぎる。	・エアコンプレッサの設置場所の通風をよくしたり、周囲温度を低くするなどしたりしてエアコンプレッサの吐出空気温度を下げてください。 ・エアコンプレッサのあとにアフタクーラを設置して温度を下げるようにしてください。
	電源電圧変動が大きい。	・電源トランスの設置や電源を再検討などを行い、電圧が適正になるようにしてください。 (一時的に許容する電源電圧の変動幅は定格電圧の $\pm 10\%$ 以内です。)
運転中、しばらくすると停止する。 運転ランプは消えない。 (冷凍機の過負荷リレーが作動しています。ランプ付きスイッチを切り、過負荷リレーが自動的に復帰するまでお待ちください。)	設置場所の通風が悪い。周囲温度が高い。	・通風をよくして周囲温度はなるべく低くしてください。
	通風口が、埃や壁などで塞がれている。	・通風口の周囲の壁から 600mm 以上離して設置してください。 ・通風口部分は、毎月 1 回は清掃してください。
	圧縮空気の温度が高すぎる。	・エアコンプレッサの設置場所の通風をよくしたり、周囲温度を低くするなどしたりしてエアコンプレッサの吐出空気温度を下げてください。 ・エアコンプレッサのあとにアフタクーラを設置して温度を下げるようにしてください。
	電源電圧変動が大きい。	・電源トランスを設置したり、電源を再検討などしたりして電圧が適正になるようにしてください。 (一時的に許容する電源電圧の変動幅は定格電圧の $\pm 10\%$ 以内です。)
	運転停止後 3 分以内に運転再開した。	・運転停止後 3 分以上経ってから運転再開してください。

症 状	原 因	処 置
蒸発温度計の指示がグリーン帯より高い。	設置場所の通風が悪い。 周囲温度が高い。	・通風をよくして周囲温度はなるべく低くしてください。
	通風口が、埃や壁などで塞がれている。	・通風口の周囲の壁から 600mm 以上離して設置してください。 ・通風口部分は、毎月 1 回は清掃してください。
	圧縮空気の温度が高すぎる。	・エアコンプレッサの設置場所の通風をよくしたり、周囲温度を低くするなどしたりしてエアコンプレッサの吐出空気温度を下げてください。 ・エアコンプレッサのあとにアフタクーラを設置して温度を下げるようにしてください。
圧縮空気ラインの下流で水分が発生する。	バイパスバルブが開いている。	・バイパスバルブは必ず全閉にしてご使用ください。
	オートドレンからドレンが排出されていない。	・ドレン配管が立ち上がったたり折れたりしていないか確認してください。 ・オートドレンを点検してください。 ・オートドレンストレーナを点検してください。 ・使用圧力範囲内で使用してください。
	圧縮空気の圧力変動（脈動）が大きい。	・エアタンクを設置してください。 ・間欠運転をしないでください。
	運転再開時、本製品内の残留ドレンが飛散した。	・本製品の二次側にフィルタ類を設置してください。 ・運転停止後または運転再開前にエアブローを行い、残留ドレンを排出してください。
	本製品を通過後の配管にエアドライヤが設置されていない。又は別系統の配管が合流している。	・本製品が設置されていない系統にもエアドライヤを設置してください。 ・エアドライヤー次側の温度条件が異なる系統を合流させないようにしてください。
圧縮空気の圧力降下が大きい。	本製品配管の IN・OUT 側バルブが全開になっていない。	・本製品の IN・OUT 側バルブは必ず全開でご使用ください。
	圧縮空気配管に設置されているエアフィルタ等が目詰まりしている。	・エアフィルタエレメントを交換するなどしてください。 (それぞれの機器の取扱説明書にしたがってください。)
オートドレンの手動操作を行ってもドレンが排出されない。	ドレンコックの排気口が詰まっている。	・ケースアセンブリを洗浄し、エアブローで目詰まりを除去する。 または、ケースアセンブリを交換する。

症状		原因	対策
オートドレンからのエア漏れ	ケースとボディの間からエアが漏れる。	ケース O リングが損傷している。	・ケース O リングを交換してください。組付けの際にはケース O リングにグリスアップをしてください。(注)
	ケースからエアが漏れる。	ケースが破損している。	・ケースアセンブリを交換してください。または、金属ケースに交換してください。
	ケースと内部アセンブリの間からエアが漏れる。	チャンバ O リングが損傷している。	・ケースアセンブリを交換してください。
	内部アセンブリとドレンコックの間からエアが漏れる。	ドレンコック O リングが損傷している。	・ケースアセンブリを交換してください。
	ドレン排出口からドレンまたはエアが吹きっぱなしになる。	ドレン配管が長すぎる、または配管内径が小さくて絞られている。 (背圧が加わっている)	・ドレン配管を行う場合は、配管内径 φ8mm 以上を使用し、長さは 5m 以内としてください。また、立上げ配管は避けてください。
	ドレンコックが緩んでいる。	・マニュアル操作表示『S』側に締め込んでください。	
ドレンが流入しない		エレメントが目詰まりしている	・エレメントを洗浄・エアブローして、目詰りを取り除いてください。 または、エレメントを交換してください。

注) 使用するグリスは、デュポン クライトックスグリス GPL207 を推奨します。

6.2 高圧圧カスイッチのリセットの仕方

運転中にランプが消え、冷凍用圧縮機が停止した場合は、冷凍用圧縮機保護のため高圧圧カスイッチが作動しています。本項の手順に従って手動でリセットを行ってください。高圧圧カスイッチの位置は「2章 各部の名称と機能」を参照ください。「6.1 異常の原因と発生時の対処」を参照して、高圧圧カスイッチが作動した原因を取り除いてください。

警告

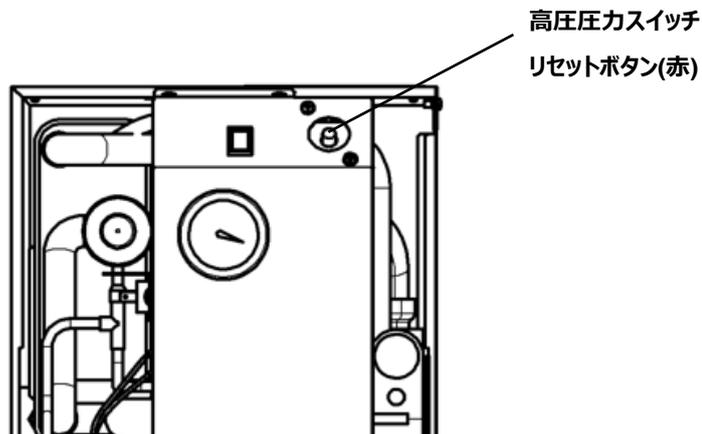
パネルを外す前に、必ず本製品のランプ付スイッチを OFF にするとともに、本製品への供給電源を遮断してください。

高圧圧カスイッチのリセットの仕方

- ① 本製品のランプ付スイッチを OFF にするとともに、本製品への供給電源を遮断します。
- ② フロントパネルを外します。
下図に示す位置に高圧圧カスイッチのリセットボタンがあります。
- ③ リセットボタンを押します。
- ④ フロントパネルを取り付けます。
- ⑤ 本製品への電源を供給し、ランプ付スイッチを ON にすると運転を再開します。

※ オプション T の場合は電源 ON のままでリセット作業をしても本製品は再起動しません。
その場合は、ランプ付スイッチを一度 OFF にしてから再度 ON にしてください。

[IDFA6E-23-F]



7章 資料

7.1 仕様一覧表[IDFA3E-23-F~IDFA15E1-23-F]

項目		型式	IDFA3E -23-F	IDFA4E -23-F	IDFA6E -23-F	IDFA8E -23-F	IDFA11E -23-F	IDFA15E1 -23-F
使用範囲	使用流体	圧縮空気						
	入口空気温度 [°C]	5~50						
	入口空気圧力 [MPa]	0.15~1.0 (オプション K, L, V の場合: 1.6MPa)						
	周囲温度 [°C]	2~40(相対湿度 85%以下)						
定格条件	処理空気量 標準状態(ANR) [m ³ /h] (注1)	出口空気 圧力露点 3°C	12	24	36	65	80	120
		出口空気 圧力露点 7°C	15	31	46	83	101	152
		出口空気 圧力露点 10°C	17	34	50	91	112	168
	処理空気量 空気圧縮機吸入 状態 [m ³ /h] (注2)	出口空気 圧力露点 3°C	13	25	37	68	83	125
		出口空気 圧力露点 7°C	16	32	48	86	105	158
		出口空気 圧力露点 10°C	18	35	52	95	116	175
	入口空気圧力 [MPa]	0.7						
	入口空気温度 [°C]	35						
	周囲温度 [°C]	25						
	電圧	1Φ 230VAC 50Hz						
電源	1Φ 230VAC±10% 50Hz (注5)							
消費電流 [A] (注3)	1.5	1.5	1.6	1.8	3.1	3.1		
消費電力 [W] (注3)	190	200	210	230	410	420		
適用漏電ブレーカ容量 [A] (注4)	5						10	
SCCR [kA]	5							
騒音値 [dB(A)]	70 以下							
コンデンサ冷却方式	空冷式							
冷媒	R1234yf(HFO) GWP:0.501							
冷媒封入量 [g]	150±5	200±5	230±5	270±5	290±5	350±5		
空気出入口配管口径	Rc3/8	Rc1/2	Rc3/4			Rc1		
付属品 (六角ニップル)	R3/8	R1/2	R3/4			R1		
ドレンチューブ外径 [mm]	10							
塗装色	本体パネル: ホワイト1, ベース: グレー2							
製品質量 [kg]	18	22	23	27	28	46		

注1) 標準状態(ANR) [20°C大気圧、相対湿度 65%]時の処理空気量を示します。

注2) 空気圧縮機吸入状態 [大気圧 32°C、相対湿度 75%] で換算した処理空気量を示します。

注3) 定格運転時の特性値で保証値ではありません。サーマルリレーの設定値等请使用しなさい。

注4) 感度電流が30mAの漏電ブレーカをご使用ください。

注5) 一時的な電力低下 (瞬時の電力不足回復を含む) が生じた場合、始動時間が長くなったり、保護装置が作動することがあります。

7.2 仕様一覧表[IDFA6E-20-F]

項 目		型 式	IDFA6E-20-F
使用範囲	使用流体		圧縮空気
	入口空気温度 [°C]		5~50
	入口空気圧力 [MPa]		0.15~1.0 (オプション K, L, V の場合: 1.6MPa)
	周囲温度 [°C]		2~40(相対湿度 85%以下)
定格条件	処理空気量 標準状態 [m ³ /min] (ANR) (注1)	50Hz	0.75
		60Hz	0.82
	処理空気量 空気圧縮装置吸込状態 [m ³ /min] (注2)	50Hz	0.8
		60Hz	0.87
	入口空気圧力 [MPa]		0.7
	入口空気温度 [°C]		35
	周囲温度 [°C]		32
	電圧		1Φ 200VAC
電源		1Phase 200/200,220VAC±10% (50/60Hz) (注5)	
電気仕様	消費電流 [A] (注3)	200VAC (50/60Hz)	1.6/1.6
	消費電力 [W] (注3)	200VAC (50/60Hz)	200/230
適用漏電ブレーカ容量 [A] (注4)			5
SCCR [kA]			5
騒音値 [dB(A)]			70 以下
コンデンサ冷却方式			空冷式
冷媒			R1234yf(HFO) GWP:0.501
冷媒封入量 [g]			230±5
空気出入口配管口径			Rc3/4
ドレンチューブ外径[mm]			10
塗装色			本体パネル: ホワイト1, ベース: グレー2
製品質量 [kg]			23

注1) 標準状態(ANR) [20°C大気圧、相対湿度 65%]時の処理空気量を示します。

注2) 空気圧縮機吸入状態 [大気圧 32°C、相対湿度 75%] で換算した処理空気量を示します。

注3) 定格運転時の特性値で保証値ではありません。サーマルリレーの設定値等に使用しなしてください。

注4) 感度電流が 30mA の漏電ブレーカをご使用ください。

注5) 一時的な電力低下 (瞬時の電力不足回復を含む) が生じた場合、始動時間が長くなったり、保護装置が作動することがあります。

7.2.1 補正係数

入口空気温度 (°C)

5~25	30	35	40	45	50
1.30	1.25	1.00	0.83	0.7	0.6

入口空気圧力 (MPa) (対応機種 : IDFA3E~11E)

0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.2	1.4	1.6
0.80	0.87	0.92	0.96	1.00	1.04	1.07	1.1	1.16	1.21	1.25

入口空気圧力 (MPa) (対応機種 : IDFA15E1)

0.3	0.4	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.0	1.2	1.4	1.6
0.72	0.81	0.88	0.95	1.00	1.06	1.11	1.16	1.21	1.25	1.27

周囲温度 (°C) (対応機種 : IDFA3E~11E)

2~20	25	30	35	40
1.1	1.0	0.91	0.83	0.79

周囲温度 (°C) (対応機種 : IDFA15E1)

2~20	25	30	35	40
1.1	1.0	0.97	0.89	0.77

算出例 : 以下の運転条件で、IDFA3E を使用して露点 10°C となる処理流量の算出

<運転条件: 入口空気温度 : 40°C、入口空気圧力 : 0.7MPa、周囲温度 : 35°C>
 $17 \text{ m}^3/\text{h}(\text{ANR}) \times 1.00 \times 0.83 \times 0.83 = 11.7 \text{ m}^3/\text{h}(\text{ANR})$

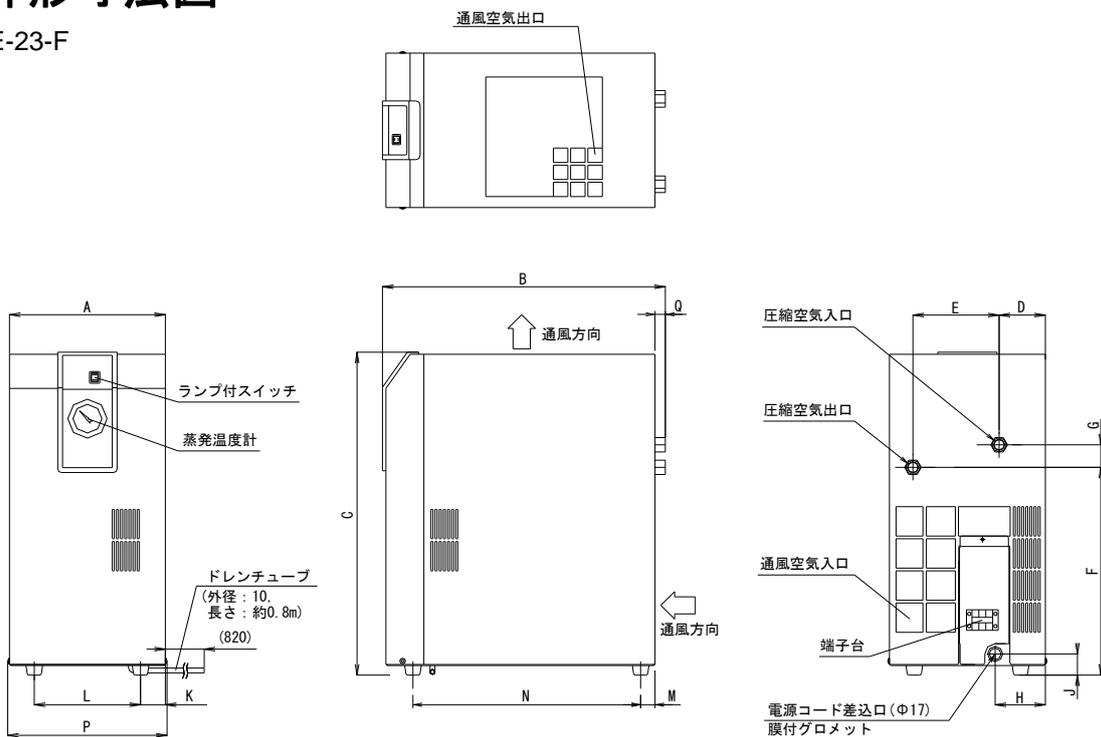
7.3 使用冷媒と GWP 値

冷媒名	地球温暖化係数 (GWP)	
	Regulation (EU)2024/573 (Based on the IPCC AR6)	AIM Act 40 CFR Part 84
R1234yf	0.501	< 1

注 1 : 本製品には微燃性冷媒の R1234yf が封入されています。

7.4 外形寸法図

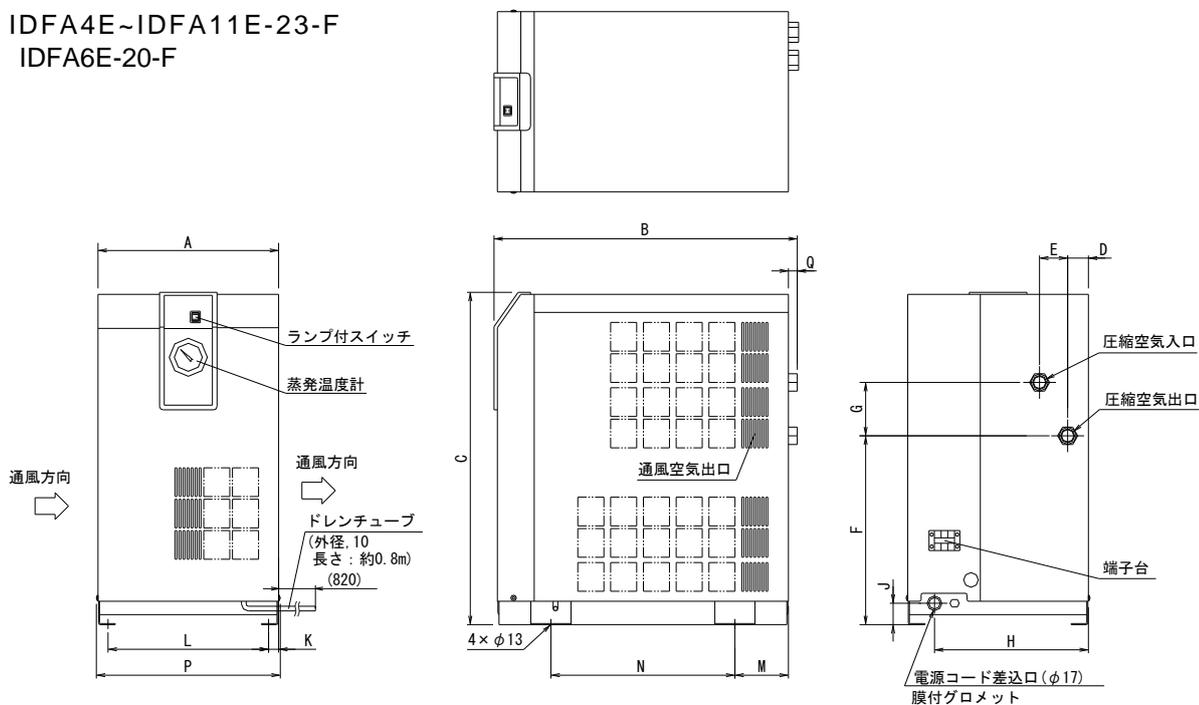
・ IDFA3E-23-F



単位：mm

型式	接続口径	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	Q
IDFA3E-23-F	Rc3/8	226	410	473	67	125	304	33	73	31	36	154	21	330	15

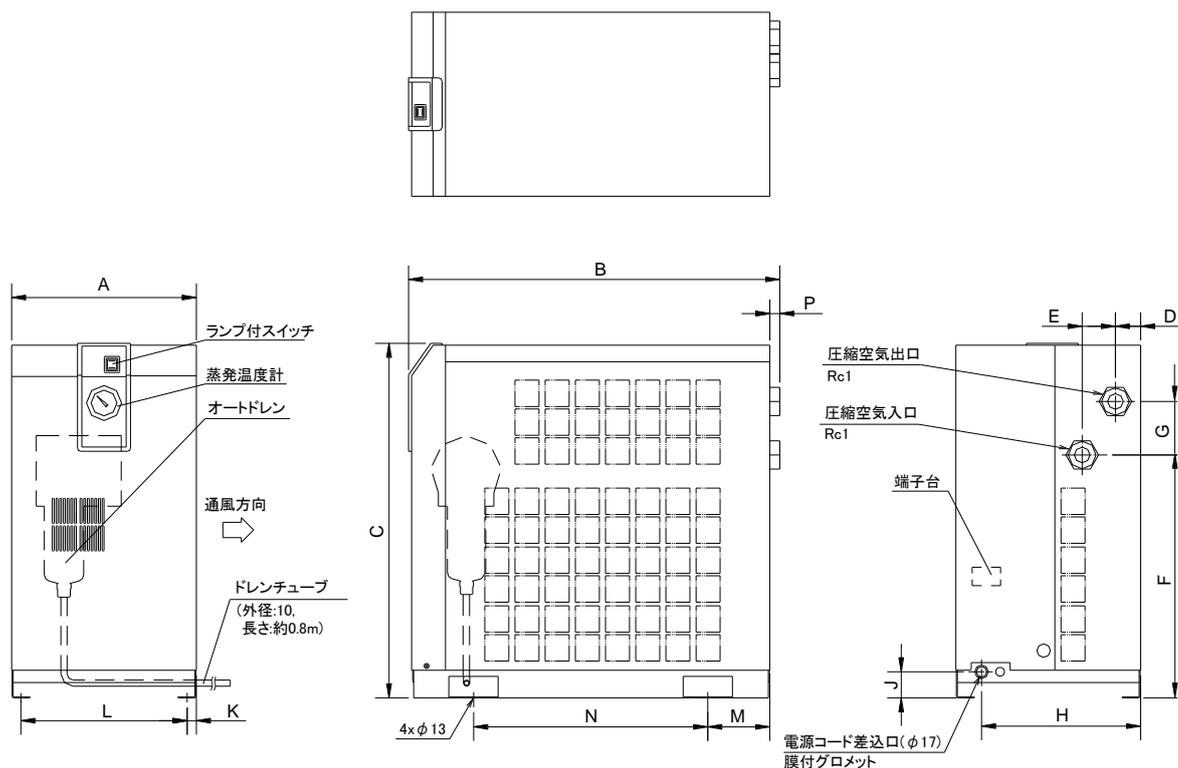
・ IDFA4E~IDFA11E-23-F
IDFA6E-20-F



単位：mm

型式	接続口径	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	Q
IDFA4E-23-F	Rc1/2	270	453	498	31	42	283	80	230	32	15	240	80	275	13
IDFA6E-20/23-F	Rc3/4		455	568			355							300	15
IDFA8E-23-F			485												
IDFA11E-23-F															

・ IDFA15E1-23-F

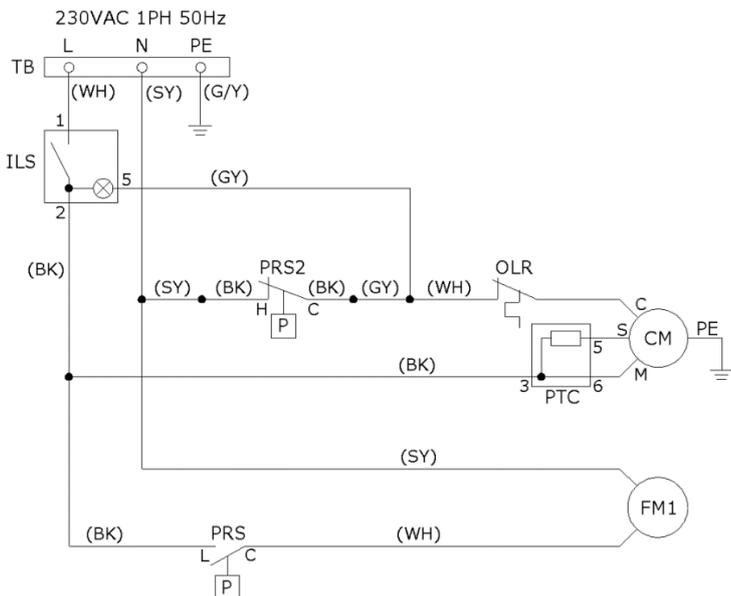


単位 : mm

型式	接続口径	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M	N	Q
IDFA15E1-23-F	R _c 1	300	603	578	41	54	396	87	258	43	15	270	101	380	16

7.5 電気回路図

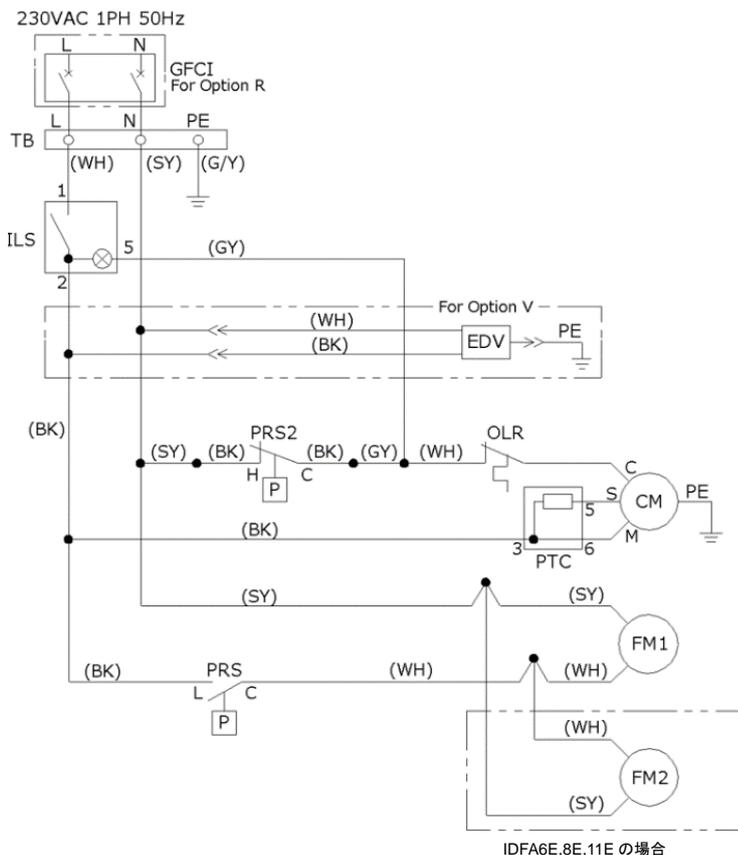
・ IDFA3E-23-F



記号	名称
CM	冷凍用圧縮機
OLR	オーバーロードリレー
PTC	PTC スターター
FM1	ファンモーター
FM1	ファンモーター
PRS	圧カスイッチ
PRS2	高圧カットスイッチ
ILS	ランプ付きスイッチ
TB	端子台
GFCI	漏電ブレーカ
EDV	タイマー式オートドレン
PE	アース

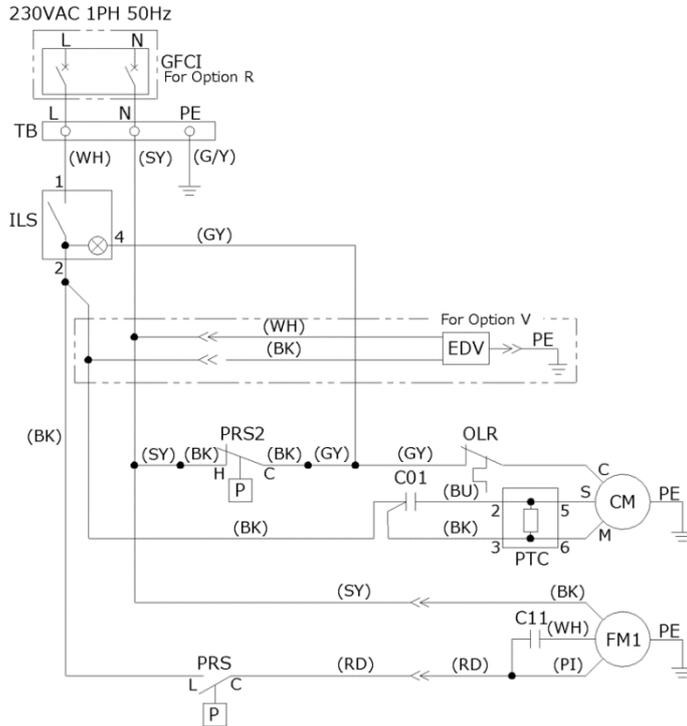
記号	配線色
(BK)	黒
(WH)	白
(GY)	灰
(SY)	空
(BU)	青
(BR)	茶
(G/Y)	緑/黄

・ IDFA4E~IDFA11E-23-F



IDFA6E,8E,11E の場合

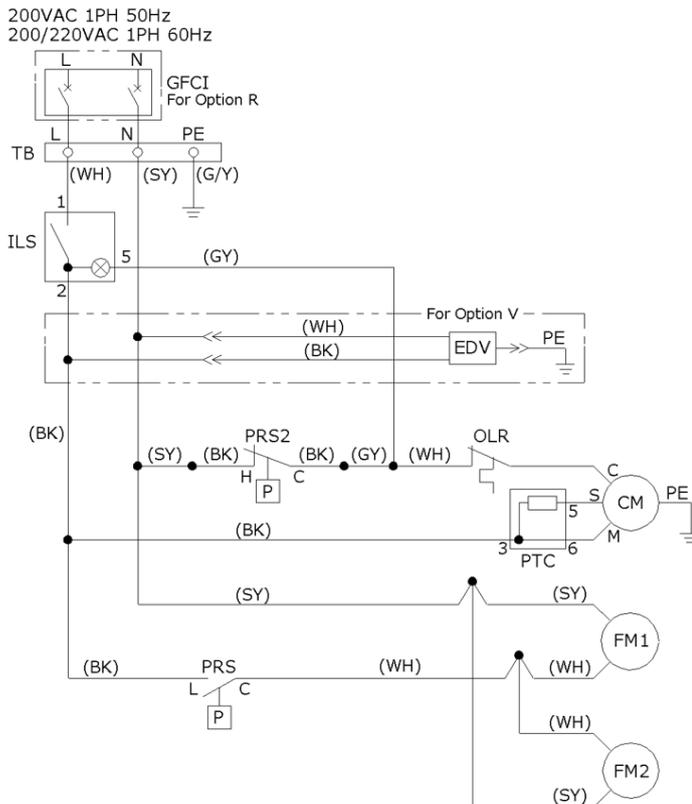
・ IDFA15E1-23-F



記号	名称
CM	冷凍用圧縮機
OLR	オーバーロードリレー
PTC	PTCスターター
C01	圧縮機用キャパシタ
FM1	ファンモータ
FM2	ファンモータ
C11	ファンモータ用キャパシタ
PRS	圧カスイッチ
PRS2	高圧カットスイッチ
ILS	ランプ付きスイッチ
TB	端子台
GFCI	漏電ブレーカ
EDV	タイマー式オートドレン
PE	アース

記号	配線色
(BK)	黒
(WH)	白
(GY)	灰
(SY)	空色
(RD)	赤
(BU)	青
(BR)	茶
(PI)	ピンク
(G/Y)	緑/黄

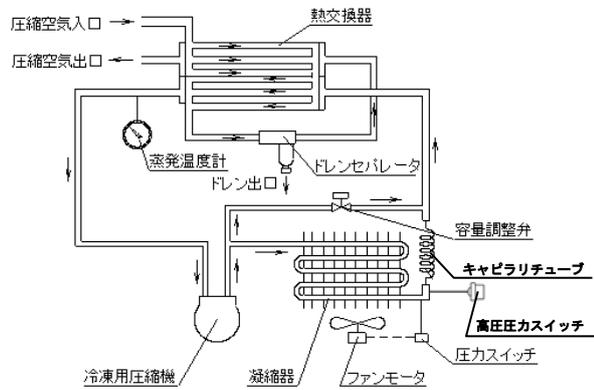
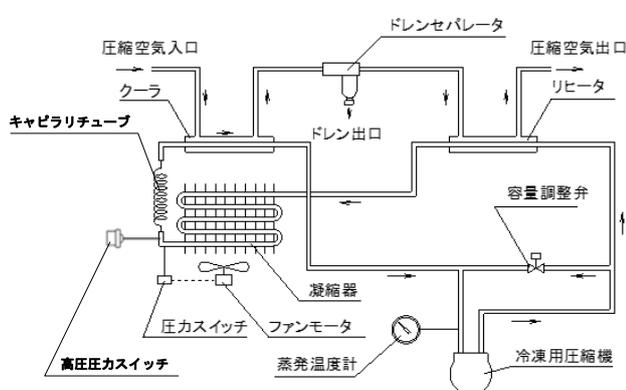
・ IDFA6E-20-F



7.6 空気・冷媒回路および機能説明

IDFA3E-23-F

IDFA4E~15E1-23-F



空気回路

エアドライヤに入ってきた湿った熱い空気は最初にリヒータ部に入り、除湿後の冷たい空気と熱交換して予冷されます。次にクーラ部に入り冷たいフロンに熱を奪われ、更に冷却除湿され水分を分離します。最後にリヒータ部でエアドライヤに入ってくる熱い空気と熱交換して加熱昇温され、暖かく乾燥した状態でエアドライヤから出て行きます。

冷媒回路

冷媒回路内に封入されているフロンガスは冷凍用圧縮機により圧縮された後、凝縮器で冷却され液化します。そしてキャピラリチューブを通過する際に、減圧され低温になり、クーラ部を通過する間に圧縮空気から熱を奪って激しく蒸発し冷凍用圧縮機に吸入されます。容量調整弁は圧縮空気が十分に冷却されている場合に開き、冷え過ぎによる結露水の凍結を防止します。

8章 オプションA仕様

適用機種: IDFA3E~11E1-23-F
IDFA6E-20-F

8.1 安全に関する注意事項

製品を取り扱う際は、下記注意事項を守ってください。

⚠ 警告
・保守作業などでパネルを取り外すときは、電源を切ってください。本製品にはファンがあり、作業者に重大な危険を及ぼす恐れがあります。

8.2 仕様

オプションA仕様は、冷たい出口空気(10℃)を供給します。処理空気量は、標準品よりも少なくなります。

8.3 空気配管について

出口空気配管は、結露防止のため断熱材を取り付けてください。結露発生を防止および周囲温度による出口空気温度の上昇をおさえるため、出口空気配管はできるだけ短くしてください。

8.4 処理空気量

型 式	IDFA3E-23-F	IDFA4E-23-F	IDFA6E-23-F	IDFA8E-23-F	IDFA11E-23-F	IDFA6E-20-F
項 目 処理空気量 標準状態(ANR) 注1)	8 m ³ /h	23 m ³ /h	29 m ³ /h	32 m ³ /h	39 m ³ /h	0.32/0.375 m ³ /min (50/60Hz)
出口空気温度	10℃					

注1) 処理空気量(ANR)は、20℃大気圧、相対湿度65%の状態値を表します。

注2) 処理空気量以外の定格仕様・条件は、標準品仕様と同じです。

8.5 空気/冷媒回路

空気回路

エアドライヤに流入した湿度の高い高温空気の熱はクーラに入り、冷たい冷媒ガスによって冷却・除湿され、水分が分離されます。

オプションAでは、エアドライヤから冷風が排出されます。

冷媒回路

冷媒回路内に封入されているフロンガスは冷凍用圧縮機により圧縮された後、凝縮器で冷却され液化します。そしてキャピラリチューブを通過する際に、減圧され低温になり、クーラ部を通過する間に圧縮空気から熱を奪って激しく蒸発し冷凍用圧縮機に吸入されます。容量調整弁は圧縮空気が十分に冷却されている場合に開き、冷え過ぎによる結露水の凍結を防止します。

9章 オプション仕様

適応機種：IDFA3E～15E1-23-F
IDFA6E-20-F

9.1 仕様

銅配管表面は耐食性を向上させるために特殊エポキシ樹脂塗料で塗装しています。
保護チューブや断熱材でカバーされている部分は塗装していません。

9.2 製品の設置および取り扱い上の注意

- 1) 腐食性ガスへの耐食性を高めるため銅配管表面をエポキシ樹脂塗料で塗装していますが、完全に防食性があるわけではありません。よって、腐食性ガスのある環境にはなるべく設置しないでください。
- 2) メンテナンスのためにパネルを取り外した際、銅配管の塗装面に傷を付けないようにしてください。傷が発生すると耐食性が低下します。

10章 オプションG仕様

適応機種 : IDFA3E~15E1-23-F
IDFA6E-20-F

10.1 仕様

外装パネルに中国語の銘板と中国語取扱説明書を付属しています。

11章 オプションH仕様

適用型式:IDFA6E-20-F

11.1 安全に関する注意事項

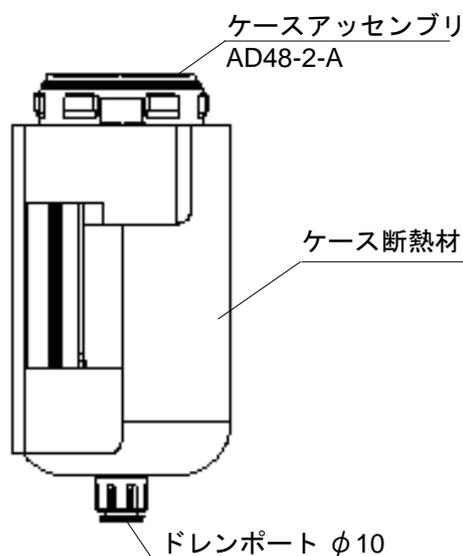
製品を取扱うときは、下記注意事項を守ってください。

警告

- ・絶対にオートドレン内部に圧縮空気が入っている状態で取外さないでください。内部に圧縮空気が入っていると部品をゆるめた際に、急激な部品飛び出し等の事故となる恐れがあります。
- ・パネル取外しの際は、怪我しないように手袋を着用してください。
- ・交換時にドレン廃液に触れてしまう可能性があります。お客様が規定されている作業安全確保の手順に従ってください。使用する保護具については「1.3.2 保護具」を参照ください。
- ・ドレン後の排液に油が混入する場合は、排水処理が必要です。地方自治体の条例または規則に従って処置してください。

11.2 仕様

オートドレンは金属ケース（レベルゲージなし）を使用しています。



項目	型式	IDFA6E-20-*FH*
オートドレン方式		フロート式
オートドレン弁タイプ		N.O.（ノーマルオープン：無加圧時開放）
入口空気圧力		0.15~1.0 MPa

表 11-1 オートドレン交換部品

品番	品名	数量	備考
IDF-S1941	ケースアッセンブリ(断熱材付)	1	-
AD48-2-A	ケースアッセンブリ	1	ケースパッキン付 (ケース断熱材なし)

このケースアッセンブリ品番は、2019年3月以降に製造された製品にのみ適用されます。

表 11-2 オートドレンストレーナ・ケースパッキン交換部品

品番	品名	数量
IDF-S0002	オートドレンストレーナ	1
C42FP-260S	ケースパッキン	1

12章 オプションK仕様

適応機種：IDFA6E～15E1-23-F
IDFA6E-20-F

12.1 安全に関する注意事項

製品を取扱うときは、下記注意事項を守ってください。

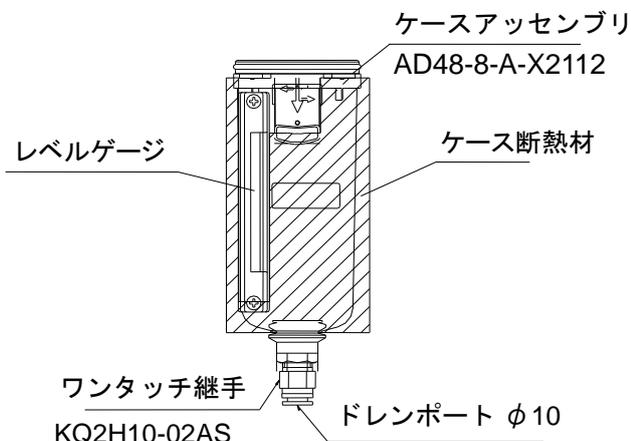


警告

- ・絶対にオートドレン内部に圧縮空気が入っている状態で取外さないでください。内部に圧縮空気が入っていると部品をゆるめた際に、急激な部品飛び出し等の事故となる恐れがあります。
- ・パネル取外しの際は、怪我しないように手袋を着用してください。
交換時にドレン廃液に触れてしまう可能性があります。お客様が規定されている作業安全確保の手順に従ってください。使用する保護具については「1.3.2 保護具」を参照ください。
- ・ドレン後の排液に油が混入する場合は、排水処理が必要です。地方自治体の条例または規則に従って処置してください。

12.2 仕様

最高使用圧力が 1.6MPa で使用することができます。オートドレンには、ドレンの水位を確認できるレベルゲージ付金属ケースを使用しています。



項目	型式	IDFA6E～15E1-23-*FK*、IDFA6E-20-*FK*
入口空気圧力		0.15～1.6MPa
オートドレン方式		フロート式
オートドレン弁タイプ		N.O. (ノーマルオープン：無加圧時開放)

表 12-1 オートドレン交換部品

品番	品名	数量	備考
IDF-S1926	ケースアッセンブリ (断熱材付)	1	-
AD48-8-A-X2112	ケースアッセンブリ	1	ケースパッキン付

注意) ケースアッセンブリにストレーナは含まれておりません。

表 12-2 オートドレンストレーナ・ケースパッキン交換部品

品番	品名	数量
IDF-S0002	オートドレンストレーナ	1
C42FP-260S	ケースパッキン	1

表 12-3 ケース断熱材交換部品

品番	品名	数量
IDF-S0529	ケース断熱材	1

13章 オプションL仕様

適応機種：IDFA4E～15E1-23-F
IDFA6E-20-F

13.1 安全に関する注意事項

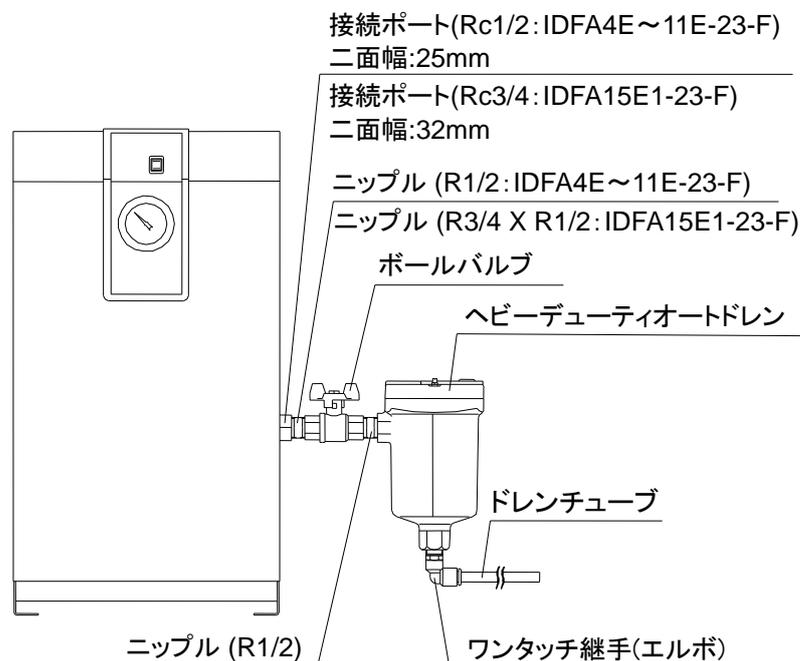
製品を取り扱う際は、下記注意事項を守ってください。

警告

- ・ オートドレンの交換の際には必ず本製品内の圧縮空気圧力を抜いて“0”としてください。絶対に本製品の運転中や、内部に空気圧力が入っている状態で、オートドレンを取り外さないでください。製品内に空気圧力が残っていると、部品をゆるめた際に、急激な部品飛び出し等の事故となる恐れがあります。
- ・ オートドレンのメンテナンス作業では、作業時にドレン液に触れる可能性があります。お客様が規定されている作業安全確保の手順に従ってください。使用する保護具については「1.3.2 保護具」を参照ください。
- ・ ドレン後の排液に油が混入する場合は、排水処理が必要です。地方自治体の条例または規則に従って処置してください。

13.2 仕様

オプションLは、ヘビーデューティオートドレン(ADH4000-04)搭載のドライヤです。ヘビーデューティオートドレンはお客様にて組み付けください。



13.3ヘビーデューティオートドレン（ADH4000-04） の仕様

手配品番 (サービスパーツ)	ヘビーデューティ オートドレン	ADH4000-04
	排気機構部交換キット	ADH-E400
オートドレン方式	フロート式	
オートドレンバルブタイプ	N.O. (ノーマルオープン)	
最高使用圧力	1.6MPa	
使用圧力範囲	0.05~1.6 MPa	
最高ドレン排出量	0.024m ³ /h (0.7 MPa)	

ヘビーデューティ
オートドレン

ADH4000-04

排気機構部
交換キット

ADH-E400

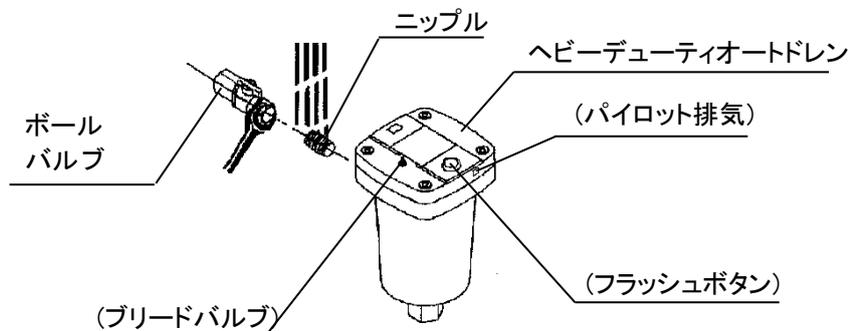


ハウジング

(ハウジングは交
換できない)

13.4ヘビーデューティオートドレンの取付

- ① 本製品の接続口 Rc1/2 の六角部(二面幅：32)をスパナで押さえ、径違いニップル、ボールバルブ(二面幅：25)の順にねじ込んでください。
- ② ボールバルブをスパナで押さえ、ニップルとヘビーデューティオートドレン(ドレン入口ポート二面幅：30)をしっかりとねじ込んでください。ドレン出口を下側にして垂直に取付けてください。(垂直法呼応の傾きの許容差は5°)
- ③ ドレン出口ポート(二面幅：27)にエルボユニオンをねじ込み、ドレンチューブを取付けてください。



注 1) ニップルにはシールテープまたはシール剤を付けてください。 締付トルク：28~30N・m

注 2) ヘビーデューティオートドレンのドレン排出口のドレン配管はお客様にて準備してください。

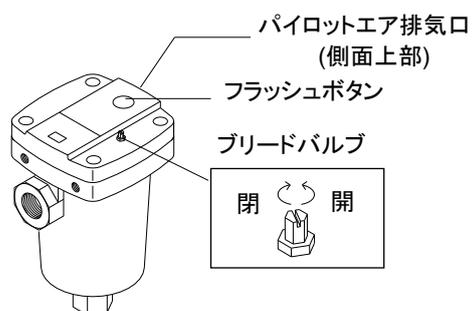
注 3) ヘビーデューティオートドレンへのドレンの流入量が少ない場合、ブリードバルブを少しずつ開けて、ドレンが流入しやすいように調整してください。

13.5 保守点検

ドレンの排出状態は必ず定期的（1日1回以上）に確認してください。また、その際フラッシュボタンを押して排出弁の洗浄（フラッシング）を行ってください。

ヘビーデューティオートドレンのパイロット排気は図に示された位置から行われます。排気口は絶対に塞がないでください。また、ゴミ等で排気口が塞がらないよう清掃してください。

ヘビーデューティオートドレンを取り外す時はボールバルブを閉じ、ブリードバルブを開けるかまたはフラッシュボタンを押し、「空気圧ゼロ」を確認してから取り外してください。



14章 オプションR仕様

適応機種：IDFA4E～15E1-23-F
IDFA6E-20-F

オプションRは漏電遮断器（GFCI）を取り付け、製品に過電流や漏電が発生した場合に電源を遮断します。また、電源はGFCIの一次側に直接接続してください。GFCIの仕様や取り付け位置などの詳細については、14-2 および 14-3 を参照してください。

14.1 安全に関する注意事項

製品を取り扱う際は、下記注意事項を守ってください。

警告

配線作業は有資格者のみが行ってください。

- ・安全のため、配線作業の前には電源を遮断してください。活電状態では絶対に作業しないでください。
- ・電源は安定した所（サージの影響を受けない）から供給してください。
- ・本製品には、仕様に合った電源を供給してください。
- ・安全のため、アース接続は必ず行ってください。
- ・アースが無いと漏電ブレーカは正常に作動しません。
- ・アースは水道管、ガス管、避雷針には絶対に接続しないでください。
- ・タコ足配線は発熱や火災等の原因となり危険です。絶対におやめください。
- ・電源配線を改造して使用しないでください。

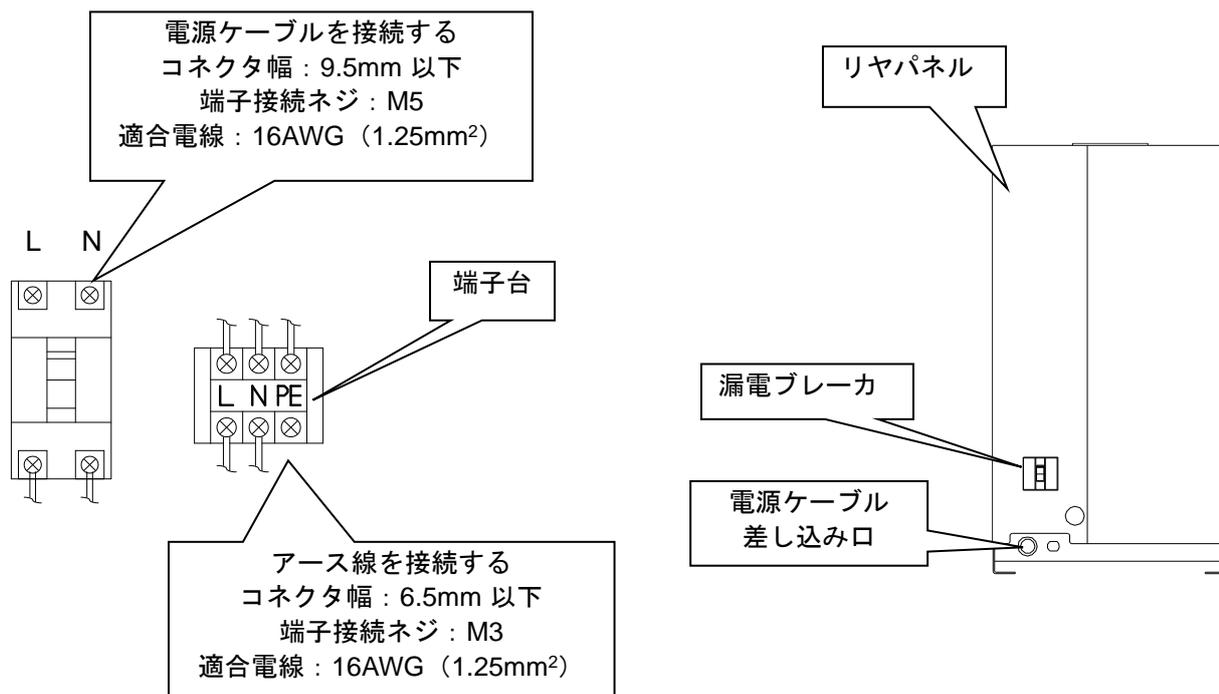
14.2 漏電遮断器（GFCI）の仕様

型 式	GFCI の仕様		SCCR [kA]
	定格電流 [A]	感度電流 [mA]	
IDFA4E/6E/8E/11E-23-*FR* IDFA6E-20-*FR*	5	30	1.5
IDFA15E1-23-*FR*	10	30	2.5

14.3 電源の接続手順

以下の手順に従って、電源ケーブルを接続してください。

- ① リヤパネルを外してください。
- ② 膜付グロメットにお客様準備の電源ケーブルを通し、ベース穴より漏電ブレーカ近くに電源ケーブルを引き込んでください。
- ③ 漏電ブレーカの端子に電源ケーブルを接続してください。
- ④ リヤパネルを取りつけてください。



14.4 電気回路図

電気配線図の詳細は、本製品のフロントパネル裏にある銘板を参照ください。
(又は「7.5 電気回路図」を参照してください)

15章 オプションT仕様

適用型式：IDFA4E～15E1-23-F

オプションTは、運転・異常信号出力のための端子台が設置されます。

15.1 安全に関する注意事項

製品を取り扱う際は、下記注意事項を守ってください。

警告

配線については資格のある人物が行い、下記ポイントを守ってください。

- ・ 配線前には必ず電源を切ってください。安全の為、電力供給された状態でユニットを作動させないでください。電源は照明のついたスイッチを切ることでオフすることができます。製品に接続された全ての電力線をオフしてください。
- ・ サージの無い安定した供給源から電力を供給してください。
- ・ 感電を回避し、冷凍用コンプレッサを燃焼から保護するため、十分な感度と負荷容量のある漏電回路遮断器(GFCI)を必ず取り付けてください。
- ・ 製品仕様に適切な電源を供給してください。
- ・ 安全のため製品をアースしてください。アースが無いと、GFCIは正常に作動しません。
- ・ 水配管、ガステーブまたは点灯する電線管にアースしないでください。
- ・ 同じ出力に多くの配線を接続しないでください。熱により発火する恐れがあります。
- ・ ドライヤや電源ラインの配線を変更しないでください。
- ・ 欧州での使用のため、製品用電源にIEC標準に使用可能なブレーカーを取り付けてください。

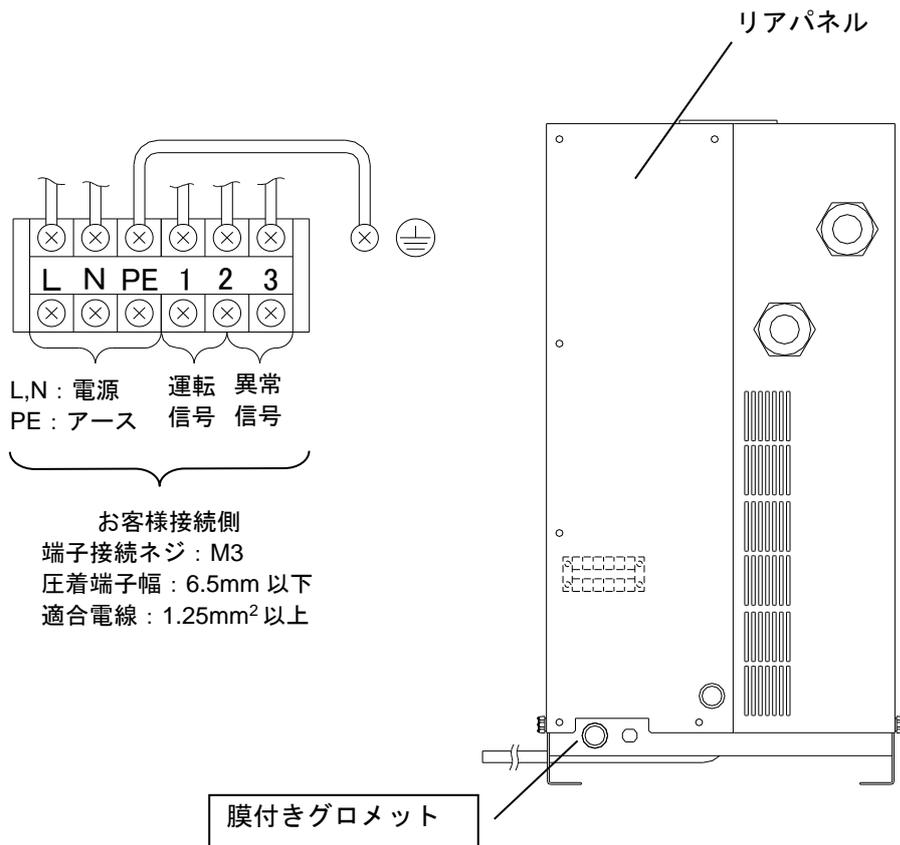
15.2 運転・異常信号出力

- 信号は接点出力です。
運転信号・・・運転時：接点「閉」、停止時：接点「開」
異常信号・・・異常停止時：接点「閉」、通常停止時：接点「開」
- 接点容量
AC200V/2A
DC24V/2A
(最小適用負荷：20V/5mA)

15.3 電源および信号ケーブルの接続

下記手順で電源ケーブルおよび信号ケーブルを接続してください。

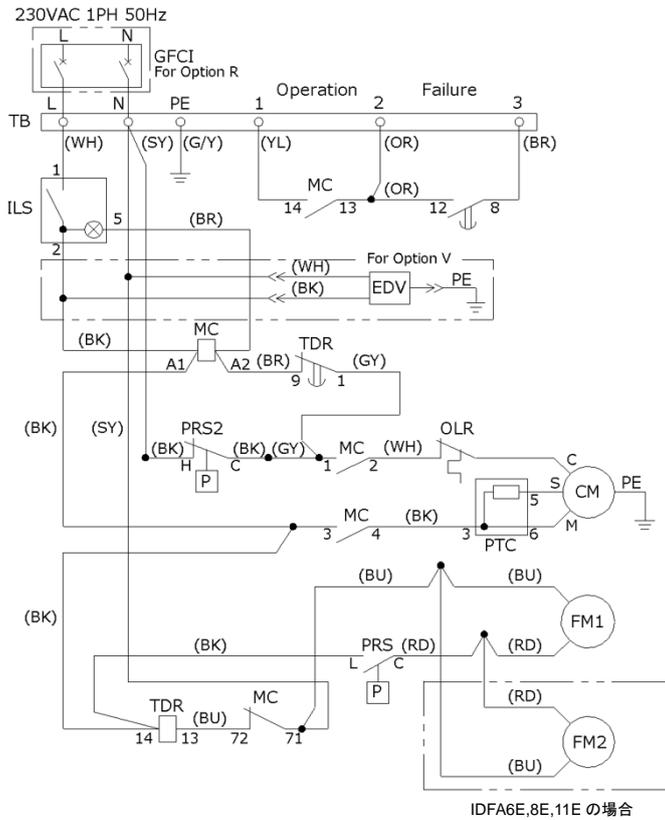
- ① リアパネルを外します。
- ② 電源ケーブル差込口（膜付きグロメット）にお客様準備の電源ケーブルを通し、ベースの穴より端子台近くに電源ケーブルを引き込んでください。
- ③ 端子台に電源ケーブル、アース線を接続してください。
- ④ 信号ケーブル差込口（膜付きグロメット）にお客様準備の信号ケーブルを通し、端子台近くに信号ケーブルを引き込んでください。
- ⑤ 端子台に信号ケーブルを接続してください。
- ⑥ リヤパネルを取付けてください。



※電源ケーブルの仕様は「3.2.5 電気配線」を参照ください。

15.4 電気回路図

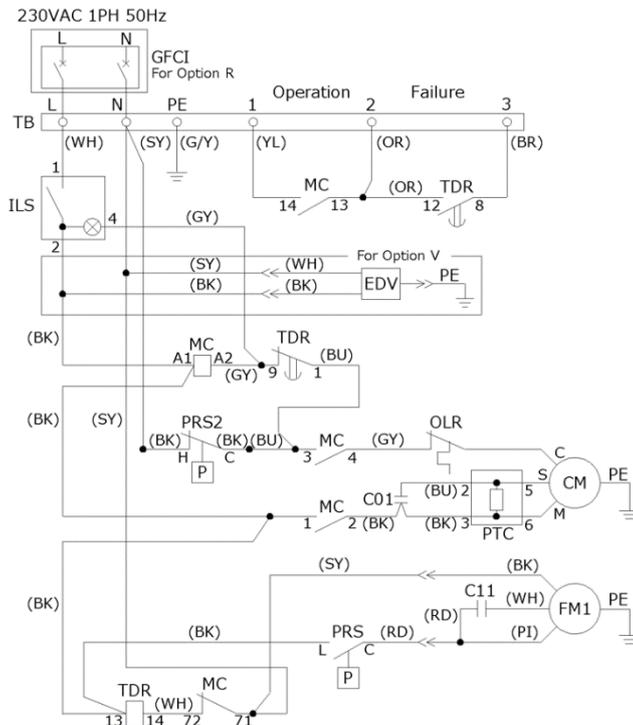
・ IDFA4~11E-23-*FT*



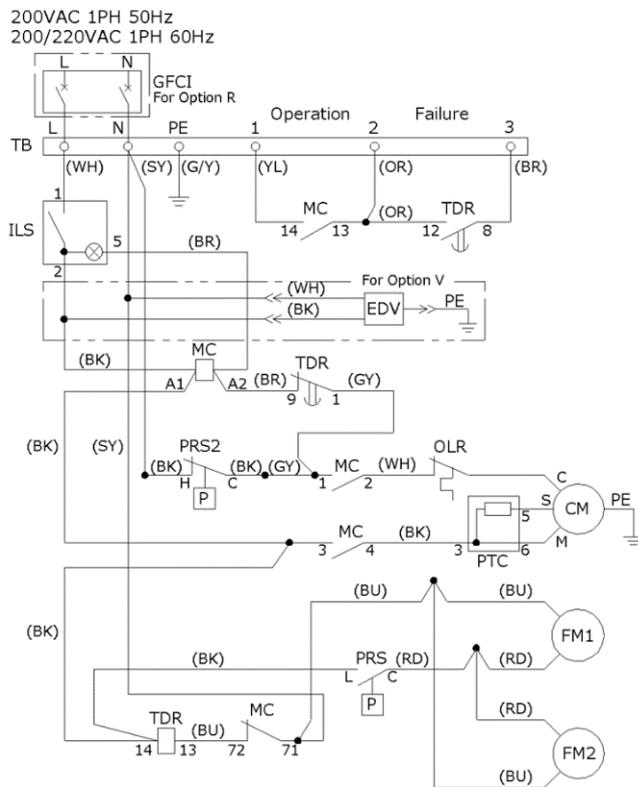
記号	名称
CM	冷凍用圧縮機
OLR	オーバークロードリレー
PTC	PTCスターター
C01	圧縮機用キャパシタ
FM1	ファンモータ
FM1	ファンモータ
C11	ファンモータ用キャパシタ
PRS	圧カスイッチ
PRS2	高圧カットスイッチ
ILS	ランプ付きスイッチ
TB	端子台
MC	電磁開閉器
TDR	遅延リレー
GFCI	漏電ブレーカ
EDV	タイマー式オートドレン
PE	アース

記号	配線色
(BK)	黒
(WH)	白
(GY)	灰
(SY)	空色
(RD)	赤
(BU)	青
(BR)	茶
(PI)	ピンク
(G/Y)	緑/黄

・ IDFA15E1-23-*FT*



・ IDFA6E-20-FT*



記号	名称
CM	冷凍用圧縮機
OLR	オーバーロードリレー
PTC	PTC スターター
FM1	ファンモータ
FM1	ファンモータ
PRS	圧カスイッチ
PRS2	高圧カットスイッチ
ILS	ランプ付きスイッチ
TB	端子台
MC	電磁開閉器
TDR	遅延リレー
GFCI	漏電ブレーカ
EDV	タイマー式オートドレン
PE	アース

記号	配線色
(BK)	黒
(WH)	白
(GY)	灰
(SY)	空色
(YL)	黄
(OR)	橙
(RD)	赤
(BU)	青
(BR)	茶
(G/Y)	緑/黄

16章 オプションV仕様

適用型式：IDFA4E～15E1-23-F
IDFA6E-20-F

オプションVは、タイマー式電磁弁付オートドレンを搭載したドライヤです。タイマーの設定はおお客様のご使用状況に合わせて適宜調整してください。

16.1 安全に関する注意事項

製品を取扱うときは、下記注意事項を守ってください。



警告

- ・オートドレンの交換の際には必ず本製品内の圧縮空気圧力を抜いて“0”としてください。絶対に本製品の運転中や、内部に空気圧が入っている状態で、オートドレンを取り外さないでください。製品内に空気圧が残っていると、部品をゆるめた際に、急激な部品飛び出し等の事故となる恐れがあります。
- ・オートドレンのメンテナンス作業では、作業時にドレン液に触れる可能性があります。お客様が規定されている作業安全確保の手順に従ってください。（作業時は、「1.3.2 保護具」を使用し、ドレン液が本体に触れないようにしてください）。

16.2 仕様

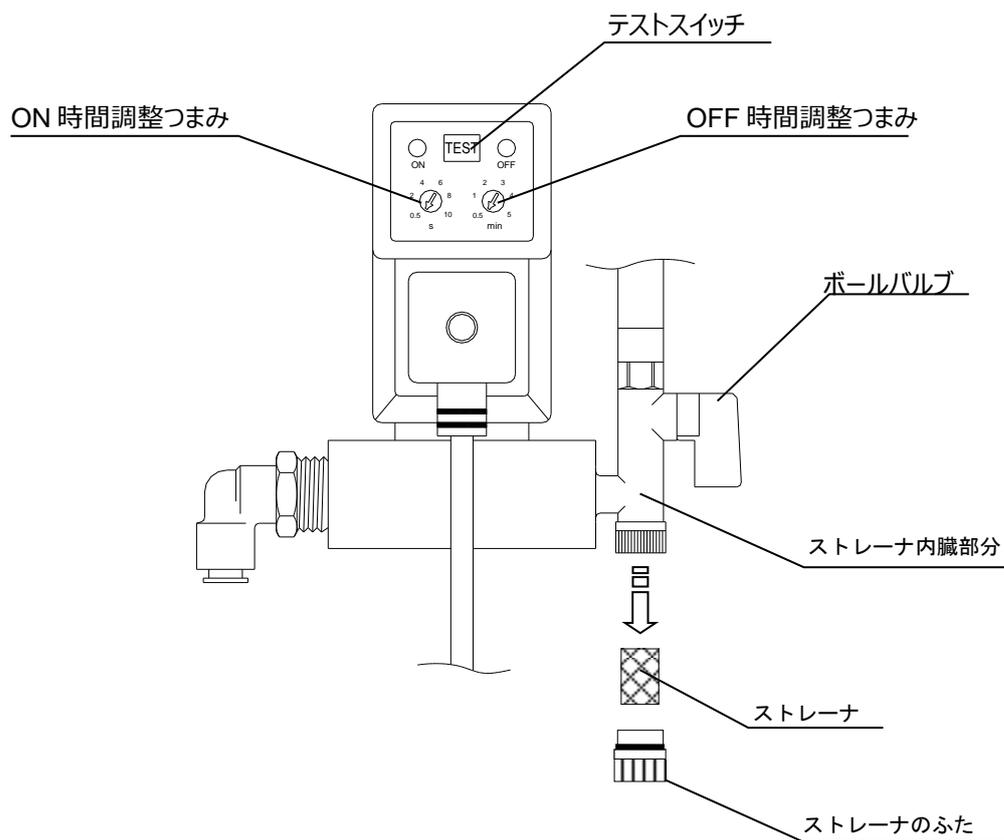
オプションVはタイマ式電磁弁付オートドレンを搭載したドライヤです。
出荷時はタイマの設定を、ON：0.5秒、OFF：30秒に設定してあります。
タイマ設定を変更しないでください。
設定を変更すると、エアドライヤ出口から排出の空気から水分が出ることがあります。

適用型式	IDFA4E～15E1-23-*FV* , IDFA6E-20-*FV*
手配品番（サービスパーツ）	IDF-S0198
最高使用圧力	1.6MPa
電源	AC230V±10% (50Hz)
ON 時間	0.5 秒
OFF 時間	30 秒

16.3 保守点検

定期的にストレーナの洗浄を行ってください。保守点検は下記手順で行ってください。

- ① ボールバルブを閉じます。
- ② テストスイッチを押し、残圧を開放します。
- ③ ストレーナを取り外し洗浄します。
- ④ ストレーナを再び取り付け、ボールバルブを開けます。



17章 点検記録

17.1 点検記録

メンテナンス／サービスを行った時には点検記録をとっておくことをお勧めします。

品番	名称	点検内容	日付

改訂履歴

SMC株式会社 お客様相談窓口

URL <https://www.smcworld.com>



0120-837-838

受付時間/9:00~12:00 13:00~17:00【月~金曜日、祝日、会社休日を除く】

④ この内容は予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

© SMC Corporation All Rights Reserved